



社団法人 日本学生陸上競技連合

会 報

第118号 2008年4月1日発行

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階

電話 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

平成20年度に向けて

平成20年3月23日の第75回理事会、第50回総会及び3月16日開催の第11回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（第29回まつえレディースハーフマラソンと共同開催）、第2回日本学生20km競歩選手権大会（日本陸連、能美市と共催）で平成19年度主催事業及び主催競技会のすべてを終了いたしました。

平成19年度は、第24回ユニバーシアード競技大会がタイのバンコクで開催されましたが、陸上競技は8月9日から14日の間、タマサート大学を主たる会場として実施されました。バンコク大会にむけては、前回イズミール大会以上の成果をあげることが目標として活動を推し進めました。植田恭史監督以下役員9名、男子18名、女子10名の選手が参加しました。結果は、優勝種目はありませんでしたが、メダル6個、入賞13種目と大変よく奮闘しました。

また、バンコク大会終了直後の8月25日から9月2日まで、2007年世界陸上競技選手権大会が大阪で開催されましたが、塚原君（東海大）を初め学生競技者も代表に選ばれました（塚原君4×100mで5位入賞）。

日本学生陸上競技連合としては、ユニバーシアード競技大会を最大の課題としながらも、より一層の向上・進展を目指す意味から、総力をあげ学生陸上競技界がもっている多くの課題に立ち向かわなければなりません。競技者は勿論、関係各位の格別のご協力をお願いいたします。

3月23日の理事会・総会では、平成20年度事業計画（別記）及び事業予算が承認され、同時に平成20・21年度役員及び平成20年度学生役員が承認されました（別記）。

新学生役員には、これからの1年間、連合は勿論、各連盟の一層の充実を目指した積極的な活動が期待されています。連合・各連盟では、毎年度新しい学生幹事が就任します。

学生陸上競技の活性化や組織の充実を目指し、先輩から引き継いだ活動内容を土台として新たな試みごとへの挑戦も大いに期待されています。

また、平成20年5月29日（木）に本連合は創立80周年を迎えます。これからは、連合としても新しい便覧の内容を基盤として、平成25年度までには新公益法人として内閣総理大臣の認可を得られるよう、着実な努力を続けたいと考えております。

関係各位のご理解、ご協力とご指導をお願い申し上げます。

社団法人 日本学生陸上競技連合
会 長 保利 耕輔

第11回日本学生ハーフマラソン選手権大会

主 催：（社）日本学生陸上競技連合・立川市陸上競技協会・昭島市陸上競技協会・

立川市・昭島市・西武新聞社

主 管・運営協力：立川市陸上競技協会 他

後 援：立川市教育委員会・東京女子体育大学・マイ・テレビ 他

日 時：2008年3月9日（日）

場 所：立川市緑町国営昭和記念公園と周回コース

順位	氏 名	所 属	記 録	順位	氏 名	所 属	記 録
1	安田 昌倫	明 治 大 学	1°03'31"	26	佐々木徹也	青山学院大学	1°04'50"
2	井上 直紀	専 修 大 学	1°03'32"	27	辻 幸佑	中 央 大 学	1°04'51"
3	野口 拓也	日本体育大学	1°03'34"	28	谷野 琢弥	日本体育大学	1°04'52"
4	伊藤 太賀	拓 殖 大 学	1°03'35"	29	長尾 正樹	日本体育大学	1°04'52"
5	天野 峻	神 奈 川 大 学	1°03'37"	30	村上 貴彦	明 治 大 学	1°04'53"
6	川内 優輝	学 習 院 大 学	1°03'38"	31	卜部 淳史	明 治 大 学	1°04'56"
7	岩田 真澄	山梨学院大学	1°03'57"	32	朝日 嗣也	早 稲 田 大 学	1°05'01"
8	高橋 和也	早 稲 田 大 学	1°03'57"	33	小棚木教彦	山梨学院大学	1°05'02"
9	川崎 健太	国 士 館 大 学	1°03'57"	34	米澤 豪	青山学院大学	1°05'05"
10	森 賢大	日本体育大学	1°04'14"	35	木之下翔太	中央学院大学	1°05'07"
11	山下 隆盛	中 央 大 学	1°04'17"	36	我妻 伸洋	駒 澤 大 学	1°05'09"
12	小島 康彰	国 士 館 大 学	1°04'17"	37	石谷 望	國 學 院 大 学	1°05'11"
13	坂本 智史	関 東 学 院 大 学	1°04'18"	38	浅田 洋平	拓 殖 大 学	1°05'11"
14	辻 茂樹	中央学院大学	1°04'19"	39	三浦 隆捻	中央学院大学	1°05'12"
15	大坪 恭兵	青山学院大学	1°04'21"	40	清水 紀仁	駒 澤 大 学	1°05'12"
16	米澤 類	青山学院大学	1°04'25"	41	藤山 修一	駒 澤 大 学	1°05'13"
17	永井 大隆	日本体育大学	1°04'28"	42	延壽寺隆之	日 本 大 学	1°05'13"
18	渡部 政彦	中央学院大学	1°04'35"	43	吉田 和矢	日 本 大 学	1°05'14"
19	木下 卓己	専 修 大 学	1°04'35"	44	齋藤雄太郎	法 政 大 学	1°05'14"
20	篠寄 昌道	日本体育大学	1°04'36"	45	曾根 涼介	神 奈 川 大 学	1°05'17"
21	藤井 和也	神 奈 川 大 学	1°04'39"	46	郡山 勝也	松 蔭 大 学	1°05'17"
22	砂原 健次	駒 澤 大 学	1°04'41"	47	岩崎 哲也	国 士 館 大 学	1°05'18"
23	石田 康雄	上 武 大 学	1°04'41"	48	三田 翔平	城 西 大 学	1°05'18"
24	的場 義真	神 奈 川 大 学	1°04'44"	49	大野 紘崇	中央学院大学	1°05'21"
25	赤木 翼	帝 京 大 学	1°04'45"	50	齋藤 勇人	中 央 大 学	1°05'21"

※完走者は532名

第11回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会

主 催：（社）日本学生陸上競技連合・松江市・松江市教育委員会・島根陸上競技協会・

山陰中央テレビジョン放送株式会社・

国際文化観光都市まつえレディースハーフマラソン実行委員会

後 援：（財）日本陸上競技連盟・島根県・島根県教育委員会・（財）松江体育協会・NHK松江放送局・

山陰中央新報社・中国新聞社・産経新聞松江支局・朝日新聞松江総局・読売新聞松江支局・

毎日新聞松江支局

主 管：松江市陸上競技協会

運営協力：中国四国学生陸上競技連盟

日 時：2008年3月16日

順位	氏 名	所 属	記 録
1	水口 侑子	三 重 大 学	1°13'27"
2	徳重 佑梨	大阪体育大学	1°14'18"
3	西尾 愛美	中 央 大 学	1°14'38"
4	大内 唯衣	大阪体育大学	1°14'48"
5	井上 実知	順 天 堂 大 学	1°14'53"
6	田中 智美	玉 川 大 学	1°14'57"
7	工藤 麻紀	玉 川 大 学	1°15'15"
8	島田 貴子	高岡法科大学	1°15'40"
9	野田 春香	茨 城 大 学	1°17'05"
10	倉田なつみ	高岡法科大学	1°17'16"
11	大槻 奈里	立 命 館 大 学	1°17'45"
12	奥山 和代	玉 川 大 学	1°17'51"
13	大内 麻衣	大阪体育大学	1°17'59"
14	大道 優香	立命館アジア太平洋大学	1°18'10"
15	村山 愛美	玉 川 大 学	1°18'16"
16	國仙 幸子	松 山 大 学	1°18'22"
17	鳥羽あゆみ	立命館アジア太平洋大学	1°18'58"
18	安里真梨子	沖 縄 国 際 大 学	1°19'00"
19	平田 絵美	立命館アジア太平洋大学	1°19'31"
20	渡辺 優雅	玉 川 大 学	1°19'53"
21	森 妃里	大阪人間科学大学	1°20'29"
22	佐藤 裕佳	東 海 大 学	1°21'46"
23	横野穂菜美	大阪人間科学大学	1°22'10"
24	仲間 千華	大阪学院大学	1°22'24"
25	山本 光流	大阪人間科学大学	1°22'52"

順位	氏 名	所 属	記 録
26	上土井未来	久留米工業大学	1°22'52"
27	澤向美沙希	北海道教育大学	1°23'03"
28	山本 実加	中京女子大学	1°23'43"
29	森 尚子	東北福祉大学	1°24'28"
30	森下 絢子	広 島 大 学	1°24'46"
31	石本 裕	びわこ成蹊スポーツ大学	1°28'16"
32	得能 麻衣	島 根 大 学	1°29'06"
33	前川 祐加	びわこ成蹊スポーツ大学	1°30'56"
34	伊地知祐未	中京女子大学	1°31'38"

※完走者は34名

第 2 回日本学生20km競歩選手権大会

主 催：（社）日本学生陸上競技連合／（財）日本陸上競技連盟／能美市／能美市教育委員会

共 催：北國新聞社

後 援：石川県／石川県教育委員会／石川県体育協会／石川県中学校体育連盟／アジア陸上競技連盟／
能美市体育協会／NHK金沢放送局／テレビ金沢／エフエム石川／テレビ小松／ラジオこまつ

主 管：石川陸上競技協会／全日本競歩能美大会実行委員会

運営協力：石川県寺井警察署

日 時：2008年 3 月16日（日）

会 場：財団法人日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース（2.0km周回コース）

【男子】

順位	氏 名	所 属	記 録	順位	氏 名	所 属	記 録
1	森岡紘一朗	順 天 堂 大 学	1°21'55"	31	中村 幸平	慶 応 義 塾 大 学	1°37'47"
2	藤澤 勇	山 梨 学 院 大 学	1°24'40"	32	根岸 義尚	駒 沢 大 学	1°38'07"
3	宇波 栄樹	小 松 短 期 大 学	1°25'05"	33	和田光一郎	東 京 大 学	1°38'12"
4	岡村 遼	東 洋 大 学	1°26'15"	34	中林 大	明 治 大 学	1°38'56"
5	鈴木 雄介	順 天 堂 大 学	1°27'17"	35	山本 陽平	日 本 体 育 大 学	1°40'51"
6	磯谷 昇太	京 都 教 育 大 学	1°27'18"	36	能村 健巧	北 海 道 東 海 大 学	1°41'26"
7	上田 勝也	京 都 教 育 大 学	1°28'16"	37	下田 聖典	群 馬 大 学	1°42'29"
8	渡辺 慎也	岩 手 大 学	1°28'22"	38	松田 卓也	上 武 大 学	1°42'46"
9	相田 直樹	城 西 大 学	1°29'47"	39	玉垣 正博	信 州 大 学	1°42'56"
10	日下 秀人	東 洋 大 学	1°30'10"	40	沢柳 良太	日 本 体 育 大 学	1°44'49"
11	荒井 広宙	福 井 工 業 大 学	1°30'49"	41	久慈 晃洋	岩 手 大 学	1°45'29"
12	小林 友貴	東 海 大 学	1°30'49"	42	本間 一樹	摂 南 大 学	1°45'56"
13	是枝 泉樹	久 留 米 大 学	1°31'26"	43	中澤 智宏	明 治 大 学	1°49'54"
14	山田 洋一	岩 手 大 学	1°31'31"	44	山崎 大輔	平 成 国 際 大 学	1°50'47"
15	尾崎 将司	山 梨 学 院 大 学	1°32'07"				
16	内藤 豪教	山 梨 学 院 大 学	1°32'21"				
17	古峨 能喜	神 戸 大 学	1°32'34"				
18	黒河 克也	山 梨 学 院 大 学	1°32'41"				
19	伊能勢剛人	国 士 館 大 学	1°32'53"				
20	佐藤 圭介	明 治 大 学	1°32'55"				
21	須賀 祐介	福 井 工 業 大 学	1°33'25"				
22	今川 智博	埼 玉 大 学	1°34'41"				
23	鶴崎健太郎	同 志 社 大 学	1°34'53"				
24	能勢祐一朗	北 海 道 東 海 大 学	1°35'21"				
25	安田 晃紀	国 士 館 大 学	1°36'25"				
26	今井 勇司	上 武 大 学	1°36'47"				
27	甲斐 大地	小 松 短 期 大 学	1°36'57"				
28	奥 裕一朗	国 際 武 道 大 学	1°37'08"				
29	曾我部靖之	城 西 大 学	1°37'23"				
30	矢島 朋幸	山 梨 学 院 大 学	1°37'34"				

第 2 回日本学生20km競歩選手権大会

主 催：（社）日本学生陸上競技連合／（財）日本陸上競技連盟／能美市／能美市教育委員会
 共 催：北國新聞社
 後 援：石川県／石川県教育委員会／石川県体育協会／石川県中学校体育連盟／アジア陸上競技連盟／
 能美市体育協会／NHK金沢放送局／テレビ金沢／エフエム石川／テレビ小松／ラジオこまつ
 主 管：石川陸上競技協会／全日本競歩能美大会実行委員会
 運営協力：石川県寺井警察署
 日 時：2008年3月16日（日）
 会 場：財団法人日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース（2.0km周回コース）

【女子】

順位	氏 名	所 属	記 録
1	瀧瀬真寿美	龍 谷 大 学	1° 32' 37"
2	大利 久美	日本女子体育大学	1° 33' 03"
3	占部 磨美	同 志 社 大 学	1° 39' 12"
4	駒 あや香	武庫川女子大	1° 43' 35"
5	森本 結香	日本女子体育大学	1° 45' 42"
6	吾妻 美季	岩 手 大 学	1° 45' 46"
7	谷中美有紀	びわこ成蹊スポーツ大学	1° 45' 58"
8	富田恵理子	日本女子体育大学	1° 48' 08"
9	沖崎 桃香	金沢学院大学	1° 49' 28"
10	池内 葉月	高岡法科大学	1° 50' 00"
11	小川 桂子	富 士 大 学	1° 50' 23"
12	沢田 美紀	びわこ成蹊スポーツ大学	1° 50' 51"
13	保坂 菜月	日本女子体育大学	1° 51' 27"
14	小田桐 尋	東 洋 大 学	1° 51' 53"
15	棟方 友理	埼 玉 大 学	1° 58' 30"
16	浅岡 友美	群 馬 大 学	2° 00' 52"
17	清田 彩加	日本女子体育大学	2° 02' 05"

第 75 回 理 事 会 議 事 録

期 日 平成20年 3 月23日（日） 13：00から

場 所 日本青年館301会議室

出席者 会 長：保利耕輔

副会長・専務理事：関岡康雄

副会長：園田裕四郎

理 事：澤木啓祐 近藤龍彦 尾縣 貢 神尾正俊 梶原洋子

米谷元捷 藤井邦夫 青葉昌幸 徳丸順子 三條俊彦

安藤好郎 栗山佳也 片峯 隆

委 任：澤村 博 東川安雄

監 事：石澤隆夫 田中淳浩

理事総数：18名 出席総数（委任含む）：18名 よって会議成立

議長に保利耕輔会長を選出、議長が議事録署名人に近藤龍彦理事、三條俊彦理事を指名

○報告事項

第 1 号 前回理事会以降の会務について

（関岡副会長・専務理事）

会報117号（1月1日）を発行した。4月には会報118号の発行を予定している。

平成19年度主催競技会関係では、3月9日に第11回日本学生ハーフマラソン選手権大会（東京都立川市）を開催した。同16日には第11回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（鳥根県松江市）と第2回日本学生20km競歩選手権大会（石川県能美市）の2つの競技会をそれぞれ開催し、今年度競技会のすべてを終了した。来年度は出雲全日本大学選抜駅伝競走が第20回を、全日本大学駅伝対校選手権大会が第40回を迎え、それぞれ記念大会として実施することとなっている。それに関して2月27日に出雲、29日には名古屋にてそれぞれ会議を行った。具体的にどのような記念事業を今大会に盛り込むかは現在検討中である。

今年は5月29日に本連合が創立80周年を迎える。その記念事業についての会議を2月8日と3月8日に実施した。その際に記念事業の一環として、連合80年史を作成することが決まり、具体的にはハードカバーで200ページ以内のものを1200部作成することを考えている。また、5月31日に開催される第51回総会後に創立80周年記念パーティーを開催することを検討している。

第 2 号 平成19年度主催競技会の結果について

（尾縣理事・強化委員長）

3月9日に第11回日本学生ハーフマラソン選手権大会、3月16日に第11回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会をそれぞれ開催した。この競技会はユニバーシアード強化対策の一環として、平成20年度8月24日にヌメア市にて開催されるニューカレドニア国際マラソンへの代表派遣選手選考競技会を兼ねており、今大会の結果から男子は川内優輝君（学習院大学）と石田康雄君（上武大学）、女子は水口郁子さん（三重大学）と西尾愛美さん（中央大学）のそれぞれ2名ずつ計4名を選考した。

また、日本学生女子ハーフマラソン選手権大会と同日に行われた第2回日本学生20km競歩選手権大会では学生のみならず、全日本、AAA（スリーエー：アジア選手権）の部の選手とも競い合った。そのなかで、男子の森岡紘一郎君（順天堂大学）が全日本並び、AAAの選手を抑え、全体で1位をとり、競歩は男女ともレベルの高い大会だった。

第3号 日本陸上競技連盟理事会、評議員会について

（神尾理事・審判指導委員長）

3月10日に日本陸上競技連盟理事会並びに評議員会が開催された。会議では平成20年度事業計画、平成20年度予算、平成19年度栄章受章者、北京オリンピック・マラソン代表選手選考等について討論、審査され、それぞれ決定された。その他に現在、日本陸連でグリーンプロジェクトという環境改善への取り組みが推進されていて、主に競技会を通じての植樹活動などを実施し、環境改善に努めている。今回は道路競技において手旗の禁止が決定された。

第4号 平成19年（2007年）学生記録について

（伊室幹事長）

別表のように今年は男子が4種目、女子が5種目の計9種目の学生記録が誕生した。

【男子】

種目	記録	氏名	大学名	月日	競技会名	会場
5000m	13' 19" 00	竹澤 健介	早稲田大学	7月28日	ナイトオブアスレティック	ニュースデン ゾン
20km	56' 42"	M. モグス	山梨学院大学	2月4日	丸亀ハーフマラソン	丸亀
ハーフマラソン	59' 48"	M. モグス	山梨学院大学	2月4日	丸亀ハーフマラソン	丸亀
10kmW	40' 04"	森岡紘一郎	順天堂大学	3月25日	日本学生20km競歩 選手権大会	能美

【女子】

種目	記録	氏名	大学名	月日	競技会名	会場
200m	23" 64	丹野 麻美	福島大学	6月10日	日本インカレ	国立
4×400m	3' 34" 70	渡辺なつみ	福島大学	10月28日	日本選手権リレー	日産
		丹野 麻美				
		青木沙弥佳				
		金田一菜可				
10000mW	44' 52" 90	瀧瀬真寿美	龍谷大学	6月10日	日本インカレ	国立
10kmW	44' 23"	瀧瀬真寿美	龍谷大学	1月28日	日本選手権競歩	神戸
20kmW	1° 29' 36"	瀧瀬真寿美	龍谷大学	1月28日	日本選手権競歩	神戸

第 5 号 平成19年度日本陸上競技連盟秩父宮章受章者の推薦について

(保利会長)

平成19年度日本陸上競技連盟秩父宮章受賞者については会長一任となっていたが、本連合派遣JUSB委員永井純さんを推薦したところ、去る3月10日に開催された日本陸連理事会で決定された。また、日本陸連の推薦で陸連功労章に関岡理事が選出されたので併せて報告させていただく。

第 6 号 その他

(保利会長)

現在、国立の投てき競技場を設置したいと考えている。特にハンマー投を実施する際に、競技場管理事務局側の意向により主競技場以外で実施せざる得ないケースが多い。しかし、実際主競技場周辺に開催できる場所が少なく、主催者側は施設探しに苦戦している状況である。この状況を改善すべく、陸連の河野洋平会長と協力して政府に案を提出し現在進行中である。実際の活動としては、先日、文部科学省でブルガリアの競技場を視察した。現在はそれを基に思案中であるということを報告させていただく。

○協議事項

第 1 号 平成20年度事業日程（案）及び事業予算（案）について

(関岡副会長・専務理事)

まず、平成20年度の事業日程の大きな変更点は、日本インカレと日本学生陸上競技選手権大会（旧：全日本学生陸上競技チャンピオンシップ）の開催時期が入れ替わった点である。これは日本陸上競技界を全体的に見ての措置であり、今年の北京オリンピック対策でもある。今後はこの日程を定着させてくこととなる。それ以外はほぼ例年通りである。

また、今年度は記念事業が多い。まず、10月13日（月・祝）に開催する出雲全日本大学選抜駅伝競走が第20回を迎える。続いて11月2日（日）に開催する全日本大学駅伝対校選手権大会も第40回を迎える。こ

の2つの大会についての特別事業については、現在検討中である。さらに、今年5月29日（木）に本連合が創立80周年を迎える。その記念事業として、連合80年史の作成を考えている。記念パーティーの開催については5月31日（土）の総会後に予定してはどうかという検討を行っている。

次に、平成20年度事業予算についての特徴として、今年はユニバーシアードの中間年であるため国際活動費を削減する。また、連合80周年記念事業の予算を計上している。全体的に見て昨年より、幾分協賛金が増加したため、昨年より予算額が増加した。その他は、ほぼ例年通りである。

（保利会長）

先程、関岡副会長からお話があったように、私としても連合80周年記念事業に関して、今回は、あまり大々的に開催しない方向でよいと考えている。

この平成20年度事業日程ならびに事業予算についてご意見等なければ、ご承認いただきたいがよろしいか。

— 承 認 —

第2号 平成20年度主催競技会要項案について

（尾縣理事・強化委員長）

3つのトラック&フィールド、4つの駅伝、2つのハーフマラソン、1つの競歩の主催競技大会の要項（案）の説明をさせていただく。

まず、第77回日本インカレの要項（案）から説明させていただく。先程、関岡副会長・専務理事からの説明の通り、秋に移行となった。期日は、9月12日（金）～14日（日）で、場所は国立競技場となっている。今回の要項で特に変わっているところは、出場資格の②で、平成19・20年度の北日本インカレ、西日本インカレの各種目の優勝者はB標準突破者とみなすという点である。これはまず、平成19年度に行われた北日本インカレ、西日本インカレの各種目の優勝者はB標準突破者ということで、第77回日本インカレの出場資格を持っている。そして今年度から日本インカレが秋に移行したため、平成20年度の北日本インカレ・西日本インカレが第77回日本インカレより前に開催される。この平成20年度の両大会の各種目の優勝者もB標準突破者とみなすため、今回の日本インカレの出場資格を持つこととなる。そのため、今大会に限り、平成19・20年度の北日本インカレ・西日本インカレの各種目の優勝者がB標準突破者となり日本インカレの出場資格を持つこととなるということをご理解いただきたい。ただし、卒業生はもちろん出場することはできないし、2年に渡って同競技者が優勝した場合もB標準突破者であるということは変わらない。今回は特に、記録や地区インカレ優勝者という形でたくさんのB標準突破者が出てくるが、B標準突破者は1校につき1名しか出場できないということは変わらないということをご理解いただきたい。その他、リレーについては平成20年度日本学連登録競技者の編成によるチームの記録でなければならないのということもご注意いただきたい。

また、今回の標準記録の変更についてだが、理由として現状のままでは出場者が多く、競技運営上に支障をきたすため変更を余儀なくされた。今回の標準記録の目安は、平成19年度の学生ランキングを基にし

ながら決定し、中・長距離種目に関しては、ロード競技対策小委員会に一任した。エントリーの注意点として地区学連においては、厳重な資格審査を徹底していただきたい。

続いて、2008日本学生陸上競技選手権大会の要項（案）をご覧ください。この大会は日本インカレと開催時期の入れ替えを行い、期日は6月6日（金）～8日（日）、場所は平塚市総合公園平塚競技場で開催する。但し、ハンマー投に関しては、7日（土）に東海大学陸上競技場で開催する。この大会は、先程もあったように大会の名称が変更となった。この大会の名称については、各地区学連のヘッドコーチの方々や強化委員会の方々にご意見をいただき、今回このような名称となったことをご理解いただきたい。付け加えて、本大会は今まで何度か名称を変更しているため、第〇〇回のような通し番号を付けることができない。そのため大会名称の前に西暦を付けている。そして、今回から3日間開催での実施することとなった。そのため今回はタイムテーブル的にも若干、余裕ができると思われる。そこが今回の大きな変更点となる。

また、本大会は発足当時に普及の意味を持たせた競技会であるため、標準記録についても日本インカレよりは低く設定しているが、競技運営上に支障をきたす恐れのある種目については、一部標準記録が変更になっている。ただ、ユニバーシアードの選考競技会となり得る場合には、標準記録の見直しも必要になると考えている。以上が日本学生陸上競技選手権大会の要項となる。

次に、出雲全日本大学選抜駅伝の要項（案）だが、今回は記念大会にあたるが、要項自体は特に変更はない。

続いて、秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会の要項（案）について、開催期日は10月18日（土）、場所は小田原市城山陸上競技場で行う。今回は学連が主管で開催する。この大会についてだが、近年、本大会は軽視されている傾向にあり、何とか活性化する方法はないかと実業団連合と打ち合わせを行った。しかし、秋季グランプリと開催時期が重なっているため、明確な対策を打ち出すことはできなかった。今回は前回同様で開催させていただくが、継続審議をして、何とか大会を活性化させる方法を考えていきたい。

そして、今回大きく変わったところは、要項のその他（5）に記載しているドーピングコントロールテストを実施するという点である。

続いて、第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の要項（案）だが、(11)の出場資格をご覧ください。今年度は出場枠入れ替えの年となるので、出場枠を複数有する各地区学連の中で最下位だった大学が所属する地区学連と出場枠が単数の各地区学連の中で最上位だった大学が所属する地区学連との間で出場枠1校の入れ替えが行われる。そのため今回は、東海学連が2→1となり、北信越学連が1→2に増えることとなる。その他に大きな変更点はない。

次に、秩父宮賜杯第40回全日本大学駅伝対校選手権の要項（案）をご覧ください。この大会の出場枠の入れ替えだが、今年度は中四国学連が2→1に減り、北信越学連が1→2に増えることとなる。その他に大きな変更点はない。

続いて、第6回全日本大学女子選抜駅伝競走の要項（案）だが、要項自体には大きな変更点はない。

次に第12回日本学生ハーフマラソン選手権大会の要項（案）をご覧ください。この競技会は、今回、第25回ユニバーシアード競技会代表選手選考競技会を兼ねて開催される。

続いて、第12回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会だが、この競技会も今回は第25回ユニバーシアード競技会代表選手選考競技会となる。また、この競技会は招待選手制度が設けられている。要項に記載している基準記録Aを突破している競技者で出場の意思ある者に限っては宿泊費等を大会事務局で負担している。加えて、地区学連推薦競技者（基準記録B突破者も含む）として各地区学連2名まで推薦することができる。本大会の活性化のためにも、この制度を利用していただきたいと考える。

最後に、第3回日本学生20km競歩選手権大会の要項（案）をご覧ください。この競技会もハーフマラソン選手権と同様に、今回は第25回ユニバーシアード競技会代表選手選考競技会となる。それ以外は特に変更点はない。

以上で、要項の説明を終了する。

私から強調して申し上げたいことは、申込期日を厳守していただきたいということである。そして競技会によっては、申込先が異なってくるのでご確認いただきたい。

（保利会長）

尾縣強化委員長から主催競技会の要項について説明があったが、何かご質問・ご意見等ございます方はどうぞ。

（片峯理事）

2008日本学生陸上競技選手権大会についてだが、1点目はオリンピック選考競技会となるのか。2点目は女子走高跳、走幅跳の標準記録が非常に低いのではないか。このままでは、出場者数が多く競技運営上に支障をきたすと考えため、1～2cm上げていただくことをご検討いただきたい。

（尾縣理事・強化委員長）

1点目についてだが、この競技会はオリンピック選考競技会には指定されていない。2点目についてだが、走高跳に関しては出場人数を見ても最近は非常にレベルが落ちてきているためこのような標準記録となっている。また標準記録に関しては再度検討したいと考える。

（関岡副会長・専務理事）

平成21年度のことになるが、7月にユニバーシアード競技大会が開催される。それに先立ち、先日、JUSB委員会の会議が開かれたが、永井委員の報告によると、エントリー期日が6月の初めとのことであった。そのため、平成21年度の日本学生陸上競技選手権大会を20年度同様の日程で実施しては、ユニバーシアードの申込期日に間に合わないため、これについては、強化委員会を中心に代表選手選考をどのように進めるかをご検討いただきたい。

（尾縣理事・強化委員長）

ユニバーシアードに関連することだが、陸上競技種目は7月4日（土）～9日（木）に開催される。そのため日本選手権をユニバーシアードと重ならないように7月下旬（24～26日）に開催していただくことを日本陸連専務理事の澤木理事にはご検討いただきたい。

（澤木理事）

このことに関しては、学生競技者が日本選手権に出場していただかないと盛り上がらないので、先ほどご提案いただいた通りの日程で開催する方向で進めていきたい。

（保利会長）

私から申し上げたいことが1点ある。日本学生陸上競技選手権大会（旧：チャンピオンシップ）と日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）についてだが、名称が似ているため紛らわしいと考えるがそれについてはどうか。

（尾縣理事・強化委員長）

それについては、種目別あるいは個人という言葉を入れるという案もあった。しかし、対校を取ることで個人というニュアンスもあるのではないかと考え、現在提示している名称を採用した。

（澤木理事）

今、保利会長が発言された通り、私もこの名称は紛らわしいと考える。また、メディアやマスコミを通じて一般の方がご覧になったときに日本インカレと区別がつかず、間違った捉え方をされる可能性もある。故に、個人という言葉は是非入れていただきたいと考えるが、どうだろうか。

（尾縣理事・強化委員長）

では、個人という言葉を入れる案も出ていたので、名称変更を行うことでよろしいと考える。

（保利会長）

では、この競技会の名称に関してご意見等なければ、個人を加えて日本学生陸上競技個人選手権大会に名称変更ということでよろしいか。

また、これを含め、この平成20年度主催競技会要項についてご賛同いただけるか。

— 承 認 —

第 3 号 平成19年度本連合栄章（功労章）について

（近藤理事・総務委員長）

本日午前中に、平成19年度本連合栄章（功労章）の審査委員会を開いた。その結果、次の方々を功労章受章者として推薦させていただく。

北海道は該当者なし、川本和久さん（東北）、徳丸順子さん、塚越憲彦さん（以上、関東）、松澤甚三郎さん（北信越）、青木 実さん（東海）、伊藤道郎さん（関西）、駒井説男さん（中四国）、岩元慎一さん（九州）、鎌倉光男さん（連合）

（保利会長）

それでは、近藤理事からご提案いただいた受章者候補について、ご意見等ございますかたはどうぞ。なければご提案いただいた通りに決定させていただくがよろしいか。

— 承 認 —

第4号 平成20・21年度連合の会長の推挙について

(関岡副会長・専務理事)

12月22日、本連合役員選出に関する内規第1条に従い、会長推挙のための選考小委員会を開催した。小委員会では、全会一致で推挙に賛成ということで、保利耕輔会長には、引き続き会長にご就任いただき、ご指導いただきますようお願い申し上げたい。また、この結果をご報告いたしましたところ、保利会長も快く引き受けてくださいましたことをご承知の上、ご賛同いただきたい。

— 承 認 —

第5号 平成20・21年度連合の役員（案）について

(関岡副会長・専務理事)

本日、お諮りしていただくのは会長推薦理事9名、地区学連推薦理事11名についてである。副会長については会長に倣い2月21日の選考小委員会で選考させていただいたが、正式には理事が出揃ってからとなる。

また、学生役員については新たに連合の会計に北野さんを加え、その他については前回の理事会で提示したとおりとなっている。

会長推薦理事（9名）

会長 保利耕輔、副会長・専務理事 関岡康雄、副会長 園田裕四郎、青葉昌幸

理事 大西清司、尾縣 貢、神尾正俊、近藤龍彦、澤木啓祐

地区学連推薦理事（11名）

米谷元捷（北海道）、藤井邦夫（東北）、金子今朝秋、岩壁達男、森本 葵（以上、関東）、三條俊彦（北信越）、安藤好郎（東海）、栗山佳也、伊藤輝雄（以上、関西）、和田正信（中四国）、片峯 隆（九州）

監事（2名）

石澤隆夫、田中淳浩

専門委員長

総務委員長 近藤龍彦、強化委員長 尾縣 貢

審判指導委員長 神尾正俊、女子委員会 浅見美弥子

地区学連会長（各地区学連選出）

藤井英嘉（北海道）、黒澤直次郎（東北）、青葉昌幸（関東）、小口正行（北信越）、松本正之（東海）、園田裕四郎（関西）、東川安雄（中四国）、近藤 勲（九州）

学生役員

幹事長・伊室智明、秘書・福原雅史、会計・北野史子、幹事・天間拓也（北海道）、上原寿夫（東北）、今泉雄太、益田雄次、小島 緑、苫米地克、横山芽久未（以上、関東）、原田俊介（北信越）、加藤欣也、山口昌寛（以上、東海）、服部陽平、間壁 恵、今中康生（以上、関西）、宮城俊吾（中四国）、小川洋平（九州）

（保利会長）

それでは、この提案にご意見等ございますかたはどうぞ。なければ、ご賛同いただきたいがよろしいか。

— 承 認 —

第 6 号 委員会の新設について

（関岡副会長・専務理事）

本連合では 4 つの専門委員会の他に、専門委員会の下部的な委員会としていくつかの委員会を設けて会務を遂行している。また、前回理事会ではドーピング検査実施委員会の設置について承認をいただいているが、本日は、これらの他に財務委員会ならびに国際関係問題に関する委員会として国際委員会の 2 つの委員会の新設をご提案させていただく。

まず、これまで本連合の財務に関しては、専務理事、総務委員長を中心に関係者と検討してきた。今回、財務委員会を置くことによって、より確かな財務活動の遂行を考えている（予算の編成については、従来通り専門委員長会議で行う）。

次に、国際関係会務に関してはこれまで、総務委員会、審判指導委員会、強化委員会等で個別に対応していた。しかし、委員会単一の作業としては内容的に見ても無理があると思われるケースが生じている状況である。特に強化面に関しては、競技者の国際化は勿論、指導者の国際化が必須とされてきている。これらの問題に対応することを狙いとして国際委員会の設置を考える。

以上、各委員会の委員については会長にご一任ということで、これらの委員会の新設をご検討いただきたい。

（保利会長）

それでは、以上 3 つの委員会の新設についてご意見等がございます方はどうぞ。なければ承認ということで後刻の総会に提案したいと考えるが、ご賛同いただけるか。

— 承 認 —

第 7 号 委員長・副委員長・派遣理事の理事会出席について

（関岡副会長・専務理事）

これまで副委員長等の理事会への出席は特別な場合を除いては行われなかった。しかし実質、実務をこなされているのは専門委員会の委員長・副委員長であつたりもする。今回は、派遣役員を含め専門委員会

委員長及び副委員長の理事会への出席を提案したいと考える。オブザーバーでの出席のため議決権はないが、具体的な説明等をしていただくような形での出席をお願いしたい。

（保利会長）

ご提案いただいたとおりオブザーバーでの出席ということだが、ご意見等ございます方はどうぞ。

（澤木理事）

オブザーバーでの出席のため議決権はないが、質問等の発言権はあるのか。

（保利会長）

それについて、一般的にオブザーバーでの出席ならば発言権もないが、副委員長が発言・説明をしたほうが良い場合、議長の判断で発言していただく形をとりたいと考える。

そのほかご意見等ございます方はどうぞ。なければ、ご賛同いただくということでもよろしいか。

— 承 認 —

この際、他に何かご提案などがございます方はどうぞ。なければ、以上で理事会のすべての審議を終了する。

平成20年3月23日

議 長	保利 耕輔
議事録署名人	三條 俊彦
議事録署名人	近藤 龍彦

第 50 回 総 会 議 事 録

期 日 平成20年 3 月23日（日） 15：00から

場 所 日本青年館301会議室

会員数 正会員現在数134名 出席数57名 委任者数51名 合計108名

定足数68名（定款第25条第 1 項による）を満たしているので総会成立

議長に保利耕輔会長を選出、議長が議事録署名人に吉村篤司会員、大西清司会員を指名

○報告事項

第 1 号 前回総会以降の会務について

（関岡副会長・専務理事）

会報115号（8 月 1 日）、会報116号（10月15日）、会報117号（1 月 1 日）を発行した。3 つの会報の主な掲載事項は、第76回日本インカレの成績、各地区インカレの成績、ユニバーシアード競技大会の成績、北日本・西日本インカレの成績、2007チャンピオンシップの成績、4 つの駅伝の結果、事業報告、第72～74 回理事会の議事録、第48～49回総会の議事録などである。また、4 月には会報118号の発行を予定している。

平成19年度競技会関係では、3 月 9 日に第11回日本学生ハーフマラソン選手権大会（東京都立川市）を開催した。同16日には第11回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（島根県松江市）と第 2 回日本学生 20km競歩選手権大会（石川県能美市）の 2 つの競技会をそれぞれ開催し、今年度競技会のすべてを終了した。来年度は出雲全日本大学選抜駅伝競走が第20回を、全日本大学駅伝対校選手権大会が第40回を迎え、それぞれ記念大会として実施することとなっている。それに関して 2 月27日に出雲、29日には名古屋にてそれぞれ会議を行った。具体的にどのような記念事業を今大会に盛り込むかは現在検討中である。

今年は 5 月29日に本連合が創立80周年を迎える。その記念事業についての会議を 2 月 8 日と 3 月 8 日に実施した。その際に記念事業の一環として、連合80年史を作成することが決まり、具体的にはハードカバーで200ページ以内のものを1200部作成することを考えている。また、5 月31日に開催される第51回総会後に創立80周年記念パーティーを開催することを検討している。

第 2 号 平成19年度連合栄章（功労章）について

（近藤理事・総務委員長）

本日午前中に、平成19年度本連合栄章（功労章）の審査委員会を開いた。その結果を先程の理事会で協議したところ承認をいただいたので、次の方々を功労章受章者としてご報告させていただく。

北海道は該当者なし、川本和久さん（東北）、徳丸順子さん、塚越憲彦さん（以上、関東）、松澤甚三郎さん（北信越）、青木 実さん（東海）、伊藤道郎さん（関西）、駒井説男さん（中四国）、岩元慎一さん（九

州)、鎌倉光男さん（連合）

第3号 日本陸連理事会・評議員会について

（神尾理事・審判指導委員長）

3月10日に日本陸上競技連盟理事会並びに評議員会が開催された。会議では平成20年度事業計画、平成20年度予算、平成19年度栄章受章者、北京オリンピック・マラソン代表選手選考等について討論、審査され、それぞれ決定された。その他に現在、日本陸連でグリーンプロジェクトという環境改善への取り組みが推進されていて、主に競技会を通じての植樹活動などを実施し、環境改善に努めている。今回は道路競技において、手旗の禁止が決定された。

第4号 平成19年（2007年）日本学生記録について

（伊室幹事長）

別表の通り今年は男子が4種目、女子が5種目の計9種目の学生記録が誕生した。

【男子】

種目	記録	氏名	大学名	月日	競技会名	会場
5000m	13' 19" 00	竹澤 健介	早稲田大学	7月28日	ナイトオブアスレティック	ニュースデン ゾン
20km	56' 42"	M. モグス	山梨学院大学	2月4日	丸亀ハーフマラソン	丸亀
ハーフマラソン	59' 48"	M. モグス	山梨学院大学	2月4日	丸亀ハーフマラソン	丸亀
10kmW	40' 04"	森岡紘一郎	順天堂大学	3月25日	日本学生20km競歩 選手権大会	能美

【女子】

種目	記録	氏名	大学名	月日	競技会名	会場
200m	23" 64	丹野 麻美	福島大学	6月10日	日本インカレ	国立
4×400m	3' 34" 70	渡辺なつみ	福島大学	10月28日	日本選手権リレー	日産
		丹野 麻美				
		青木沙弥佳				
		金田一葉可				
10000mW	44' 52" 90	瀧瀬真寿美	龍谷大学	6月10日	日本インカレ	国立
10kmW	44' 23"	瀧瀬真寿美	龍谷大学	1月28日	日本選手権競歩	神戸
20kmW	1° 29' 36"	瀧瀬真寿美	龍谷大学	1月28日	日本選手権競歩	神戸

第 5 号 平成20年度主催競技会要項について

(尾縣理事・強化委員長)

3つのトラック&フィールド、4つの駅伝、2つのハーフマラソン、1つの競歩の主催競技大会の要項（案）の説明をさせていただきます。

まず、第77回日本インカレの要項（案）から説明させていただきます。先程、関岡副会長・専務理事からの説明の通り、秋に移行となった。これは日本陸上競技界を全体的に見ての措置であり、今年の北京オリンピック対策でもある。期日は、9月12日（金）～14日（日）で、場所は国立競技場となっている。出場資格等の詳細については各自ご確認ください。

次に、2008日本学生陸上競技選手権大会（旧：全日本学生陸上競技チャンピオンシップ）の要項をご覧ください。この大会は日本インカレと開催時期の入れ替えを行い、期日は6月6日（金）～8日（日）、場所は平塚市総合公園平塚競技場で開催する。但し、ハンマー投に関しては、7日（土）に東海大学陸上競技場で開催する。また本大会は、先程の理事会で、大会名称と女子走高跳の標準記録についてご指摘いただいた。まず、大会名称については、日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）と似ていて紛らわしいので、「対校」と区別するため「個人」という言葉を入れた「日本学生陸上競技個人選手権大会」という名称に変更した。標準記録の件については、今後、平成19年度学生ランキングを基にしながら検討したいと考えている。

続いて、出雲全日本大学選抜駅伝の要項（案）だが、今回は記念大会にあたるが、要項自体は特に変更はない。

次に、秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会の要項（案）について、開催期日は10月18日（土）、場所は小田原市城山陸上競技場で行う。今回は学連が主管で開催する。この大会について、今回大きく変わったところは、要項のその他（5）に記載しているドーピングコントロールテストを実施するという点である。

続いて、第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の要項（案）だが、(11)の出場資格をご覧ください。今年度は出場枠入れ替えの年となるので、出場枠を複数有する各地区学連の中で最下位だった大学が所属する地区学連と出場枠が単数の各地区学連の中で最上位だった大学が所属する地区学連との間で出場枠1校の入れ替えが行われる。そのため今回は、東海学連が2→1となり、北信越学連が1→2に増えることとなる。その他に大きな変更点はない。

次に、秩父宮賜杯第40回全日本大学駅伝対校選手権の要項（案）をご覧ください。この大会の出場枠の入れ替えだが、今年度は中四国学連が2→1に減り、北信越学連が1→2に増えることとなる。その他に大きな変更点はない。

続いて、第6回全日本大学女子選抜駅伝競走の要項（案）だが、要項自体には大きな変更点はない。

次に第12回日本学生ハーフマラソン選手権大会の要項（案）をご覧ください。この競技会は、今回、第25回ユニバーシアード競技会代表選手選考競技会を兼ねて開催される。

続いて、第12回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会だが、この競技会も同じく、今回は第25回ユニ

バーシアード競技会代表選手選考競技会となる。

最後に、第3回日本学生20km競歩選手権大会の要項（案）をご覧いただきたい。この競技会もハーフマラソン選手権と同様に、今回は第25回ユニバーシアード競技会代表選手選考競技会となる。それ以外は特に変更点はない。

以上で、要項の説明を終了する。

○協議事項

第1号 平成20年度事業日程（案）及び事業予算（案）について

（関岡副会長・専務理事）

まず、平成20年度の事業日程の大きな変更点は、日本インカレと日本学生陸上競技個人選手権大会の開催時期が入れ替わった点である。開催期日は、日本インカレが9月12日（金）～14日（日）と秋に移行し、個人選手権が6月6日（金）～6月8日（日）と3日開催で春に移行する。これは日本陸上競技界を全体的に見ての措置であり、今年の北京オリンピック対策でもある。今後はこの日程を定着させていきたい。

次に、昨年は第53回指導者会議を9月8日（土）の全日本学生陸上競技チャンピオンシップの開催期間中に平塚にて実施したが、競技会中では参加が難しいとの声があった。そのため、平成20年度の指導者会議は活性化を図る意味でも従来通り12月に開催することとしたい。

続いて、平成21年3月20日（金・祝）に開催する第78回理事会及び第52回総会は、大学の卒業式と重ならないように金曜日の祝日に開催する運びとなったことをご理解いただきたい。

次に、平成21年3月7日（土）に福岡にて開催する第23回福岡国際クロスカントリー大会では日本学連は後援に入っている。これは福岡クロカンの中で学生競技者の競技力向上を取り上げていただくことから、後援となっていることをご理解いただきたい。

また、今年度は記念事業が多い。まず、10月13日（月・祝）に開催する出雲全日本大学選抜駅伝競走が第20回を迎える。続いて11月2日（日）に開催する全日本大学駅伝対校選手権大会も第40回を迎える。この2つの記念大会についての特別事業については、現在検討中である。さらに、今年5月29日（木）に本連合が創立80周年を迎える。その記念事業の一環として、連合80年史の作成と記念パーティーの開催を5月31日（土）の総会後に予定している。

平成20年度事業予算についてだが、特徴として今年はユニバーシアードの中間年であるため国際活動費を削減するが、その分は連合80周年記念事業の予算に当てるという点である。また、全体的に見て昨年より協賛金が増加したため、昨年より予算額が増加した。その他、収入・支出に多少上下はあるものの、ほぼ例年通りである。

以上、理事会でも承認をいただいた案として説明し、総会へ提出させていただく。

（保利会長）

それでは只今、説明いただいた案にご意見等あるかたはどうぞ。なければご承認をいただきたいがよろしいか。

— 承 認 —

第 2 号 平成20・21年連合の会長について

(関岡副会長・専務理事)

役員改選にあたり、12月22日、本連合役員選出に関する内規第1条に従い、会長推挙のための選考小委員会を開催した。小委員会では、全会一致で推挙に賛成ということで、保利耕輔会長には、引き続き会長にご就任いただき、ご指導いただけるようお願い申し上げたい。

また、この結果をご報告したところ、保利会長も快く引き受けてくださり、先程の理事会で承認いただいた案として、総会でもご承認いただきたいがご意見等ある方はどうぞ。なければご承認いただきたいがよろしいか。

— 承 認 —

第 3 号 平成20・21年度連合の役員（案）について

(関岡副会長・専務理事)

今回、理事会案として提出させていただくのは、会長推薦理事9名、地区学連推薦理事11名についてである。副会長については、会長に倣い2月21日に選考小委員会で選考させていただいた。また、学生役員についても、理事会案として提出させていただく。

会長推薦理事（9名）

会長 保利耕輔、副会長・専務理事 関岡康雄、副会長 園田裕四郎、青葉昌幸

理事 大西清司、尾縣 貢、神尾正俊、近藤龍彦、澤木啓祐

地区学連推薦理事（11名）

米谷元捷（北海道）、藤井邦夫（東北）、金子今朝秋、岩壁達男、森本 葵（以上、関東）、三條俊彦（北信越）、安藤好郎（東海）、栗山佳也、伊藤輝雄（以上、関西）、和田正信（中四国）、片峯 隆（九州）

監事（2名）

石澤隆夫、田中淳浩

専門委員長

総務委員長 近藤龍彦、強化委員長 尾縣 貢

審判指導委員長 神尾正俊、女子委員会 浅見美弥子

地区学連会長（各地区学連選出）

藤井英嘉（北海道）、黒澤直次郎（東北）、青葉昌幸（関東）、小口正行（北信越）、松本正之（東海）、園田裕四郎（関西）、東川安雄（中四国）、近藤 勲（九州）

学生役員

幹事長・伊室智明、秘書・福原雅史、会計・北野史子、幹事・天間拓也（北海道）、上原寿夫（東北）、今泉雄太、益田雄次、小島 緑、苔米地克、横山芽久未（以上、関東）、原田俊介（北信越）、加藤欣也、山口昌寛（以上、東海）、服部陽平、間壁 恵、今中康生（以上、関西）、宮城俊吾（中四国）、小川洋平（九州）

（保利会長）

それでは、この理事会案についてご意見等ございます方はどうぞ。なければ、ご賛同いただきたいがよろしいか。

— 承 認 —

第4号 委員会の新設について

（関岡副会長・専務理事）

本連合では4つの専門委員会の他に、専門委員会の下部的な委員会としていくつかの委員会を設けて会務を遂行している。今回は新たに3つの委員会の新設を提案し説明させていただく。

まず、ドーピング検査実施委員会から説明させていただきたい。本連合ではすでにドーピングについての対応を実施しており、昨年の具体例を挙げると、日本インカレ、チャンピオンシップ、全日本大学女子駅伝対校選手権等での主催競技会でドーピング検査を実施している。また、公益法人でもあることから、ドーピングについての委員会を設けるべきであるのご指摘を受けている状況でもある。この委員会のメンバーについては、引き続きドーピング検査の資格を持った現役の医師を含めた編成を考えている。

次に、これまで本連合の財務に関しては、専務理事、総務委員長を中心に関係者と検討してきた。今回、財務委員会を置くことによって、より確かな財務活動の遂行を考えている（予算の編成については、従来通り専門委員長会議で行う）。

3つ目は、国際関係会務に関してはこれまで、総務委員会、審判指導委員会、強化委員会等で個別に対応していた。しかし、委員会単一の作業としては内容的に見ても無理があると思われるケースが生じている状況である。特に強化面に関しては、競技者の国際化は勿論、指導者の国際化が必須とされてきている。これらの問題に対応することを狙いとして国際委員会の設置を考える。

以上、各委員会の委員については会長にご一任ということで、これらの委員会の新設を理事会案として提出させていただきたい。

（保利会長）

それでは、以上3つの委員会の新設を理事会案として提出いたしますが、ご意見等がございましたらど

うぞ。なければご賛同いただきたいがよろしいか。

— 承 認 —

第 5 号 その他

（関岡副会長・専務理事）

平成21年 7 月にはユニバーシアード競技大会が開催される。それに先立ち、先日、JUSB委員会が開かれ、永井委員が出席した。永井委員の報告では、ユニバーシアード参加申込期日を 6 月の初めになるとのことである。そのため、平成21年度の日本学生陸上競技個人選手権大会ではユニバーシアード申込期日に間に合わないため、これについては、強化委員会を中心に代表選手選考をどのように行うかを検討してまいりたい。

— 承 認 —

（保利会長）

この際、他に何かご提案などがございます方はどうぞ。なければ、以上で総会のすべての審議を終了する。

平成20年 3 月23日

議 長	保利 耕輔
議事録署名人	吉村 篤司
議事録署名人	大西 清司

平成20年度(2008年度) 社団法人日本学生陸上競技連合 事業日程

2008.3.23現在

年	月	日	競技会・会議等	会場
平成20年 (2008年)	4月			
	5月	31日（土）	第76回理事会	日本青年館615グリーティングルーム(東京)
		31日（土）	第51回総会	日本青年館615グリーティングルーム(東京)
	6月	6日（金）～8日（日）	2008日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場(神奈川)
		15日（日）	第51回札幌国際ハーフマラソン（後援）	札幌市(北海道)
	7月			
	8月	24日（日）	ニューカレドニア・マラソン(ハーフマラソン)（派遣）	ヌメア市(ニューカレドニア)
	9月	12日（金）～14日（日）	天皇賜杯第77回日本学生陸上競技対校選手権大会	国立競技場（東京）
	10月	13日（月・祝）	第20回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲市(島根)
		18日（土）	秩父宮賜杯第48回実業団・学生対抗陸上競技大会	小田原市城山陸上競技場(神奈川)
		26日（日）	第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市（宮城）
11月	2日（日）	秩父宮賜杯第40回全日本大学駅伝対校選手権大会	名古屋市(愛知)～伊勢市(三重)	
	24日（月・祝）	2008国際千葉駅伝（日本学連選抜チーム参加）	千葉市(千葉)	
12月	13日（土）	第54回指導者会議	日本青年館(東京)	
	13日（土）	第77回理事会	日本青年館(東京)	
	23日（火・祝）	第6回全日本大学女子選抜駅伝競走	つくば市(茨城)	
平成21年 (2009年)	1月			
	2月			
	3月	7日（土）	第23回福岡国際クロスカントリー大会（後援）	福岡市（福岡）
		8日（日）	第12回日本学生ハーフマラソン選手権大会 兼 第25回ユニバーシアード競技大会選考競技会 (男子ハーフマラソン)	立川市（東京）
		15日（日）	第12回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 兼 第25回ユニバーシアード競技大会選考競技会 (女子ハーフマラソン)	松江市（島根）
		15日（日）	第3回日本学生20km競歩選手権大会 兼 第25回ユニバーシアード競技大会選考競技会 (男女20km競歩)	能美市（石川）
		19日（木）～20日（金・祝）	第34回学生幹部役員研修会	日本青年館（東京）
		20日（金・祝）	第78回理事会	日本青年館（東京）
		20日（金・祝）	第52回総会	日本青年館（東京）
	未定	未定	未定	米国遠征

2008日本学生陸上競技個人選手権大会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合
2. 後 援 平塚市、平塚市教育委員会
3. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、神奈川陸上競技協会
4. 協 賛 株式会社アシックス
5. 協 力 シチズンホールディングス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、大塚製薬株式会社
6. 期 日 平成20年 6 月 6 日（金）、7 日（土）、8 日（日）
7. 場 所 平塚市総合公園平塚競技場（ハンマー投：東海大学湘南校舎陸上競技場）
8. 競技種目 **男子18種目**
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH 400mH 3000mSC 10000mW
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投
女子17種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 100mH 400mH 10000mW
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投
9. 出場資格 1) 平成20年度(社)日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。
2) 平成19年 1 月 1 日より申し込み期日前日までに別紙の標準記録に達した者。
3) 各大学 1 種目あたりの出場人数制限はない。
4) 個人の出場種目数の制限はない。
10. 参 加 料 出場者 1 種目 1 名につき2000円
11. 申込期日 平成20年 月 日（ ）（地区学連締切日）
12. 申込方法 1) 大学は、地区学連の指定期日までに下記の書類を整備の上、地区学連まで申し込むこと。また、FAX・電話等による申し込みは一切受け付けない。
2) 参加料は、申し込みと同時に納入すること。受領書は各地区学連のものとする。
3) 地区学連は、大学の書類を取りまとめの上、平成20年 5 月26日（月）正午（必着）までに日本学生陸上競技連合に申し込むこと。
申込書類 エントリー入力シート [左記データを保存したFD等と、印刷した紙を提出のこと]
13. 式 典 開式 6 月 6 日（金）競技開始前
閉式 6 月 8 日（日）競技終了後
14. 表 彰 第 1 位から第 3 位までの入賞者には賞状と記念品、第 4 位から第 8 位までの入賞者には賞状を贈与する。

15. 注意事項
- 1) 競技は平成20年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
 - 2) やむなく競技に参加できない場合は不出場届を提出すること。
 - 3) 競技に使用するよう器具は、主催者側が用意したものを使わなければならない。ただし棒高跳用ポール、やりは個人所有のものが使用できる（配布された投てき物一覧表以外のものに限る）。やりは招集完了時刻1時間前に器具庫で各々検定を受けて、許可されたものでなければ使用できない。
 - 4) 計時は、トラック競技全種目電気計時で行う。
 - 5) 5000m、10000mWにおいて、給水を行う場合がある。
 - 6) ドーピングコントロールテストはJAAFの規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
 - 7) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は負わない。
16. そ の 他
- 1) 参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
 - 2) 宿泊については、トップツアー（株）が斡旋するので、希望者は別紙宿泊要項を参照のこと（所属学連に問い合わせのこと）。

2008日本学生陸上競技個人選手権大会 標 準 記 録

種 目	男 子	女 子
	記 録	記 録
100m	10.75	12.50
200m	21.60	25.50
400m	48.30	58.20
800m	<u>1.54.5</u>	<u>2.18.0</u>
1500m	<u>3.58.0</u>	<u>4.43.0</u>
5000m	<u>14.50.0</u>	3000m <u>9.45.0</u>
		5000m <u>17.00.0</u>
100mH	—	15.00
110mH	14.80	—
400mH	52.60	64.00
3000mSC	<u>9.23.0</u>	—
10000m競歩	5000mW <u>21.30.0</u>	5000mW 25.30.0
	10000mW <u>45.00.0</u>	10000mW 54.00.0
	10kmW <u>45.00.</u>	10kmW 54.00.
	20kmW <u>1.34.00</u>	20kmW 1.49.00
走高跳	2.07	<u>1.67</u>
棒高跳	4.95	3.20
走幅跳	7.40	5.70
三段跳	15.10	11.70
砲丸投	13.50	11.70
円盤投	42.00	40.00
ハンマー投	53.00	33.00
やり投	64.50	44.50

下線：2007全日本学生陸上競技チャンピオンシップから変更のあった種目

2008日本学生陸上競技個人選手権大会 宿泊申込要項

拝啓 皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度2008日本学生陸上競技個人選手権大会が平塚競技場（神奈川）にて開催されるに当たり、選手及び関係者皆様の宿泊のご利用について社団法人日本学生陸上競技連合様よりご用命いただきました。

私どもトップツアーでは、競技場への交通の便利な宿泊施設をご用意し皆様の参加をお待ち申し上げております。

敬 具

1. 宿泊について（トップツアー株式会社による募集型企画旅行です。）

（1）宿泊取扱期間：平成20年6月5日（木）～6月7日（土）3泊

（2）宿泊代金（1泊当たり）：＜定員利用のお一人様料金、サービス料・消費税（5%）込み＞

宿泊ホテル名	部屋タイプ	宿泊代金	宿泊条件	駐車場	備 考
ホテル法華クラブ 藤沢	シングル	9,045円	1泊朝食	30台 先着順 1泊1,000円	JR東海道線 藤沢駅南口より徒歩5分。 JR平塚駅まで2駅 約12分。
	ツイン	9,045円			
藤沢ホテル	シングル	8,925円	食事なし	1泊500円 予約制	JR東海道線 藤沢駅南口より徒歩5分。 JR平塚駅まで2駅 約12分。
インテリジェンスホテル330藤沢	シングル	9,680円	1泊朝食	なし	JR東海道線 藤沢駅より徒歩2分。 JR平塚駅まで2駅 約12分。

※宿泊申込受付は先着順となります。必ず第2希望までご記入願います。

※ご希望のホテルが定員オーバーの場合は、事前に連絡の上、他施設をご案内させていただく場合があります。

銀行振込み受領書（振り込み通知書）をもって領収書にかえさせていただきますが、弊社の領収書をご入用の方はお申し出ください。

※添乗員は同行いたしません。チェックイン等お手続きはご自身で行ってください。

2. 申込方法

別紙申込書に必要事項をご記入、郵送又はFAXをご利用の上、**5月23日（金）**必着にて、トップツアー渋谷支店までお申込み願います。（FAXご利用の場合は着信の確認電話をお願いします）

※エントリーの関係でお申し込み間に合わない場合はご一報下さい。

3. お支払い方法

当支店にて申込書を受領後、ご請求書（全額）とご旅行条件書を郵送致しますのでそれまでお支払いは結構です。ご旅行条件書をご確認ください。

4. 申込後のご案内について

宿泊者リスト受領後、5月27日（火）以降に宿泊予約確認書を郵送いたします。

5. キャンセルの場合下記取消し料がかかります（お一人様）

宿泊日の8日前までにトップツアー渋谷支店（担当：小野田）に取消しを申し出た場合は全額払い戻し致します。

宿泊日の7日前より2日前までに取消しの場合	費用の30%
宿泊日の前日に取消しの場合	費用の40%
当日の取消しの場合	費用の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合	費用の全額

6. お問い合わせ・申込先

【旅行企画・実施】

国土交通大臣登録旅行業第38号

（社）日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

トップツアー株式会社渋谷支店 スポーツデスク

担当：小野田 基

営業時間 月～金 09：30～18：00

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-22-3

（土・日曜・祝祭日は休み）

TEL：03-5766-0123 FAX：03-5766-0136

総合旅行業務取扱管理者 三上 佳博

承認番号2841

2008日本学生陸上競技個人選手権大会 宿泊申込書

大学名		
宿泊案内 通知先	申込代表者 氏名	
	住所	〒 TEL（自）（ ） (携帯TEL)（ ）
自宅（寮） 大学 (何れかに○)		

	宿泊施設名
第1希望	
第2希望	

宿泊希望日に○印をご記入願います

宿泊者リスト

申込日 月 日（ ）

組 合	氏 名（カタカナ）	男 女	6/5 （木）	6/6 （金）	6/7 （土）	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

「旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人情報について同意の上、本旅行に申し込みます。」

※記入欄不足の場合はコピーしてお使い願います。

※宿泊代の領収書が 必要 ・ 不要 （何れかに○印）

※氏名欄はカタカナでご記入願います。宿泊日に○印をご記入願います。

※上記は部屋割り表（ツインの組合せ）になります。シングルルーム希望の場合は1つの番号に1名の記入をお願いいたします。

※宿泊日の異なるツイン利用の組合せは受付できません。

天皇賜杯 第77回日本学生陸上競技対校選手権大会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、社団法人東京陸上競技協会
3. 協 賛 ミズノ株式会社
4. 協 力 シチズンホールディングス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、大塚製薬株式会社
5. 期 日 平成20年 9 月12日（金）・13日（土）・14日（日）
6. 場 所 国立競技場 （ハンマー投予選） 代々木公園陸上競技場
7. 競技種目 **男子22種目**
 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 110mH 400mH
 3000mSC 4×100mR 4×400mR 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳
 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 十種競技
女子21種目
 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 100mH 400mH
 4×100mR 4×400mR 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 七種競技
8. 出場資格
 - 1) 平成20年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。
 - 2) ①平成19年 1 月 1 日から申し込み期日前日までに、別紙標準記録に達した者は、下図の例に従い各種目 1 大学につき 3 名まで出場できる。

出場人数と標準突破者の組み合わせ

出場人数	競歩以外の種目		競歩
1 名	B	A	B
2 名	B A	A A	B B
3 名	B A A	A A A	B B B

②B標準突破者（特別枠）について

平成20年度地区ICおよび平成19・20年度北日本IC・西日本ICの優勝者はB標準突破者とみなす。但し、各種目同一大学に地区IC優勝者、北日本・西日本IC優勝者、標準記録Bに達した者がいた場合は、いずれか 1 名とする。

③リレーについては平成20年度登録競技者の編成によるチームの記録でなければならない。

3) 4×100mR・4×400mRは1大学1チームとし、6名連記とする。

4) 個人の出場種目数の制限はない。

9. 参 加 料 出場者1種目1名につき2500円、リレーは1チーム4000円とする。

10. 申込期日 平成20年 月 日（ ）（地区学連締切日）

11. 申込方法 1) 大学は、地区学連の指定期日までに下記の書類を整備の上、地区学連まで申し込むこと。また、FAX・電話等による申し込みは一切受け付けない。
2) 参加料は、申し込みと同時に納入すること。受領書は地区学連のものとする。
3) 地区学連は、大学の書類を取りまとめの上、平成20年8月25日（月）正午までに日本学連に申し込むこと（必着）。

申込書類 エントリー入力シート(混成競技とリレーを除いた種目)

混成競技エントリー入力シート

リレーエントリー入力シート

種目別参加人数表

左記データを保存したFD等と、
印刷した紙を提出のこと。

4) 送 り 先

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階

社団法人 日本学生陸上競技連合 宛

TEL 03-5304-5542

FAX 03-5304-5569

12. 得点方法 各種目とも、1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点とする。

13. 式 典 開会式 9月12日（金）9時30分

閉会式 9月14日（日）競技終了後

14. 表 彰 男子総合優勝大学には天皇賜杯、女子総合優勝大学には秩父宮妃杯を贈与する。その他男・女各優勝大学に次の賞を贈与する。

<男子の部>総 合 優 勝 大 学 日本陸上競技連盟優勝旗

トラック優勝大学 朝 日 新 聞 社 楯

フィールド優勝大学 毎 日 新 聞 社 楯

混 成 優 勝 大 学 日本学生陸上競技連合杯

多 種 目 優 勝 大 学 読 売 新 聞 社 楯

<女子の部>総 合 優 勝 大 学 日本学生陸上競技連合会長杯

トラック優勝大学 日本学生陸上競技連合杯

フィールド優勝大学 日本学生陸上競技連合杯

混 成 優 勝 大 学 日本学生陸上競技連合杯

多 種 目 優 勝 大 学 日本学生陸上競技連合楯

15. 監督・代表者会議 平成20年 9 月 日（ ） 時より国立競技場大会議室にて行う。
プログラム、ナンバーカード他関係書類を交付し、注意事項の伝達、プログラム訂正を行う。指導責任者は必ず出席のこと。なお、この会議において不出場を申し出た場合はこれを承認する。
16. 注意事項 1) 競技は平成20年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
2) やむなく競技に参加できない場合は不出場届を提出すること。
3) 各大学の部長（1名）、監督（1名）、コーチ（若干名）、マネージャー（若干名）、トレーナー（本連合が認めた者）および選手は本連合が定めるID（監督・代表者会議において配布）を着用のこと。
4) 競技に使用する用器具は、主催者側が用意したものを使わなければならない。ただし棒高跳用ポール、やりは個人所有のものが使用できる（配布された投てき物一覧表以外のものに限る）。やりは招集完了時刻 1 時間前に器具庫で各々検査を受けて、許可されたものでなければ使用できない。
5) 計時はトラック競技全種目電気計時で行う。
6) 5000m、10000m、競歩の給水については天候に応じて主催者が水とスポンジを用意する場合がある。
7) 練習は東京体育館の陸上競技場を使用できる。
8) ドーピングコントロールテストはJAAFの規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
9) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。
10) 各大学は開・閉会式の際、部旗を 1 旗用意すること。なお、優勝大学（男子・女子）は校歌を演奏し部旗を掲揚するので準備しておくこと。
17. そ の 他 1) 参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
2) 宿泊についてトップツアー（株）が斡旋するので、希望者は別紙宿泊要項を参照のこと（所属学連に問い合わせのこと）。
3) ポールの搬送について
ポールは下記の住所に郵送すること。
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10-2 国立競技場 事業課着付
（社）日本学生陸上競技連合 宛 TEL：03-5304-5542

天皇賜杯

第77回日本学生陸上競技対校選手権大会

標準記録

	男 子		女 子	
	標準記録A	標準記録B	標準記録A	標準記録B
100m	10.54	10.64	12.20	12.35
200m	21.20	21.50	25.00	25.30
400m	47.00	47.50	<u>56.00</u>	<u>56.80</u>
800m	1.51.0	1.52.8	2.12.0	2.14.0
1500m	3.49.0	3.52.5	4.28.0	4.32.0
5000m	13.58.0	14.10.0	5000m <u>16.15.0</u>	3000m 9.30.0 5000m 16.40.0
10000m	28.58.0	29.30.0	10000m 34.20.0	3000m 9.35.0 5000m 16.50.0 10000m 35.30.0
100mH	—	—	14.30	14.80
110mH	14.40	14.60	—	—
400mH	51.20	52.00	<u>60.80</u>	<u>61.80</u>
3000mSC	8.55.0	9.01.0	—	—
4 × 100m	—	41.00	—	<u>48.20</u>
4 × 400m	—	3.13.00	—	<u>3.57.00</u>
10000m競歩	—	5000mW 21.00.0	—	5000mW <u>25.00.0</u>
	—	10000mW 44.00.0	—	10000mW 52.00.0
	—	10kmW 44.00.	—	10kmW 52.00.
	—	20kmW 1.32.00	—	20kmW 1.45.00
走高跳	2.13	2.08	1.73	<u>1.69</u>
棒高跳	5.15	<u>5.05</u>	3.60	3.40
走幅跳	7.60	7.45	5.90	5.80
三段跳	15.50	15.30	12.20	11.80
砲丸投	15.20	14.40	13.40	12.60
円盤投	46.00	44.00	45.00	42.00
ハンマー投	58.00	56.00	43.00	<u>41.00</u>
やり投	69.00	67.00	<u>48.50</u>	<u>46.50</u>
七種競技	—	—	4650	<u>4550</u>
十種競技	6900	<u>6780</u>	—	—

(注) ①十種競技については、標準記録に達していても棒高跳 3 m以上の実績のある者とする。

②第76回大会と変更のあった箇所にはアンダーラインを引いている。

天皇賜杯

第77回日本学生陸上競技対校選手権大会 宿泊申込要項

拝啓 皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度第77回日本学生陸上競技対校選手権大会が国立霞ヶ丘競技場（東京）にて開催されるに当たり、選手及び関係者皆様の宿泊のご利用について社団法人日本学生陸上競技連合様よりご用命いただきました。

私どもトップツアーでは、競技場への交通の便利な宿泊施設をご用意し皆様の参加をお待ち申し上げております。

敬 具

1. 宿泊について（トップツアー株式会社による募集型企画旅行です。）

（1）宿泊取扱期間：平成20年 9 月11日（木）・9 月12日（金）・9 月13日（土）3泊

（2）宿泊代金（1泊当たり）：＜定員利用のお一人様料金、サービス料・消費税（5%）込み＞

宿泊ホテル名	部屋タイプ	宿泊代金	宿泊条件	駐車場	備 考
ホテルアミスタ 阿佐ヶ谷	シングル	8,000円	1泊朝食	25台 先着順に無料 予約不可	地下鉄丸の内線 南阿佐ヶ谷駅より徒歩1分。 JR中央線・総武線 阿佐ヶ谷駅より徒歩8分。
	ツイン	7,350円			

※宿泊申込受付は先着順となります。

※ホテルが定員オーバーの場合は、事前に連絡の上、他施設をご案内させていただく場合があります。

銀行振込み受領書（振り込み通知書）をもって領収書にかえさせていただきますが、弊社の領収書をご入用の方はお申し出ください。

※添乗員は同行いたしません。チェックイン等お手続きはご自身で行ってください。

2. 申込方法

別紙申込書に必要事項をご記入、郵送又はFAXをご利用の上、**8月29日（金）** 必着にて、トップツアー 渋谷支店までお申込み願います。（FAXご利用の場合は着信の確認電話をお願いします）

※エントリーの関係でお申し込みに関合わない場合はご一報下さい。

3. お支払い方法

当支店にて申込書を受領後、ご請求書（全額）とご旅行条件書を郵送致しますのでそれまでお支払いは結構です。ご旅行条件書をご確認ください。

4. 申込後のご案内について

宿泊者リスト受領後、9月2日（火）以降に宿泊予約確認書を郵送いたします。

5. キャンセルの場合下記取消し料がかかります（お一人様）

宿泊日の8日前までにトップツアー渋谷支店（担当：小野田）に取消しを申し出た場合は全額払い戻し致します。

宿泊日の7日前より2日前までに取消しの場合	費用の30%
宿泊日の前日に取消しの場合	費用の40%
当日の取消しの場合	費用の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合	費用の全額

6. お問い合わせ・申込先**【旅行企画・実施】**

国土交通大臣登録旅行業第38号

（社）日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

トップツアー株式会社渋谷支店 スポーツデスク

担当：小野田 基

営業時間 月～金 09：30～18：00

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-22-3

（土・日曜・祝祭日は休み）

TEL：03-5766-0123 FAX：03-5766-0136

総合旅行業務取扱管理者 三上 佳博

承認番号 2842

第77回日本学生陸上競技対校選手権大会 宿泊申込書

大学名		
宿泊案内 通知先	申込代表者 氏名	
	住所	〒 TEL（自）（ ） （携帯TEL）（ ）
自宅（寮） 大学 （何れかに○）		

宿泊施設名
ホテルアミスタ阿佐ヶ谷

宿泊希望日に○印をご記入願います

宿泊者リスト

申込日 月 日（ ）

組 合	氏 名（カタカナ）	男 女	9/11 （木）	9/12 （金）	9/13 （土）	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

「旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人情報について同意の上、本旅行に申し込みます。」

※記入欄不足の場合はコピーしてお使い願います。

※宿泊代の領収書が 必要 ・ 不要 （何れかに○印）

※氏名欄はカタカナでご記入願います。宿泊日に○印をご記入願います。

※上記は部屋割り表（ツインの組合せ）になります。シングルルーム希望の場合は1つの番号に1名の記入をお願いいたします。

※宿泊日の異なるツイン利用の組合せは受付できません。

第20回出雲全日本大学選抜駅伝競走 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合、出雲市
2. 主 管 出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会
3. 運営協力 中国四国学生陸上競技連盟、島根陸上競技協会、出雲市陸上競技協会
4. 後 援 島根県、島根県教育委員会、財団法人島根県体育協会、斐川町、
フジテレビジョン、産経新聞社、サンケイスポーツ、ニッポン放送、
山陰中央テレビジョン放送、山陰中央新報社、エフエム山陰
5. 協 賛
6. 期 日 平成20年10月13日（月・祝）
7. コー ス スタート 出雲大社正面鳥居前
フィニッシュ 出雲ドーム前（Tel 0853-25-1006）
区 間
1区（8.0km）出雲大社正面鳥居前 → 出雲市役所前
2区（5.8km）出雲市役所前 → 斐川直江
3区（8.5km）斐川直江 → 平田図書館前
4区（6.5km）平田図書館前 → 鷹ヶ巣城前
5区（5.0km）鷹ヶ巣城前 → 島根ワイナリー前
6区（10.2km）島根ワイナリー前 → 出雲ドーム前 （以上44.0km）
8. 出 場 校 (社)日本学生陸上競技連合推薦による20チーム、第19回大会3位入賞大学のシード校3チーム（東海大学、日本大学、日本体育大学）、ただし地区推薦と重複するチームを除く。及び米・アイビーリーグ選抜チーム。
〈学連選抜チーム〉
北海道学連選抜1、東北学連選抜1、北信越学連選抜1、中国四国学連選抜1、
米・アイビーリーグ選抜チーム1
〈大学単独チーム〉
関東10、関西2、九州2、東海1、中四国1
以上21チーム
9. チーム編成 1チーム10名（監督1名、マネージャー1名、選手8名）をもって編成する。なおチームエントリーの段階ではさらに選手2名を加えて登録することができる。
10. 申込方法 主催者から送付されるチームエントリー用紙に記入し、平成20年 月 日（ ）正午までに大会事務局まで申し込むこと。メンバーエントリー（正選手6名、補員2名）2部は、

健康に関する誓約書を添えて平成20年10月12日（日） 時 分～ 時 分に大会事務局（島根厚生年金会館）へ持参提出のこと。

11. 競技方法 1) 競技は、平成20年度日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走規準及び本大会申し合わせ事項により実施する。ただし、競技中に競技者が競技続行できなくなった場合、走者の交代は認めず、チームは失格となる。なお、希望があれば次の区間から走ることができるが、これ以降の区間記録は参考記録となる。

2) 大会結果は、レース終了後大会事務局指定の場所に掲示する。

12. 日 程 1) 監督者会議：10月12日（日） 時 分 島根厚生年金会館
2) 開 会 式：10月12日（日） 時 分 出雲市民会館
3) 競技スタート：10月13日（月・祝） 13時05分 出雲大社前
4) 表 彰 式：10月13日（月・祝） 15時30分頃 出雲ドーム

13. そ の 他 1) タスキは各大学・地区学連選抜チームで2本用意すること。尚、タスキは、長さ：1.6m～1.8m、幅：6cmを標準とする。

2) 公道に直接目印となるマーキングすることを厳禁とする。

3) 宿泊・輸送については、組織委員会が責任をもって実施する。

4) スタートは出雲大社前とするが、本部は出雲ドームとし、スタートの10分前に選手をスタート地点に移動させる。

5) 参加者は、健康保険証（コピー可）を必ず持参する。

6) 本競走は「大学選抜駅伝」を正式略称とする。

7) 放送 テレビ、フジテレビ26局ネットワーク（山陰中央テレビ）

8) 本大会の結果により国際千葉駅伝のメンバーを選抜する。

9) 本大会の事務局を下記の通り設ける。

《連絡先》

〒693-8530 出雲市今市町109-1

出雲市文化観光部スポーツ振興課内

TEL 0853-21-2341

FAX 0853-21-6730

秩父宮賜杯 第48回実業団・学生対抗陸上競技大会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合、日本実業団陸上競技連合
2. 後 援 財団法人日本陸上競技連盟、神奈川県、神奈川県教育委員会、小田原市、
小田原市教育委員会
3. 運営協力 神奈川県陸上競技協会、関東学生陸上競技連盟、東日本実業団陸上競技連盟
4. 協 賛 ミズノ株式会社
5. 期 日 2008年10月18日（土）開会式 12時00分 競技開始 12時20分
閉会式 15時00分頃
6. 会 場 小田原市 城山陸上競技場
〒250-0045 小田原市城山2-29-1 TEL：0465-22-3549
7. 種 目 **男子10種目**
100m 400m 800m 110mH 400mH 100m+200m+300m+400mR
走幅跳 棒高跳 円盤投 やり投
女子10種目
100m 400m 800m 100mH 400mH 100m+200m+300m+400mR
走高跳 三段跳 砲丸投 ハンマー投
8. 参加制限 1チーム1種目3名、リレーは6名連記
9. 選手団編成 両チームとも監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、
男子選手33名、女子選手33名の合計70名で編成する。
ナンバーカードは実業団 男子 1～33、女子 1～33
学 生 男子 101～133、女子 101～133とする。
10. 代表者会議 10月18日（土） 時 分 城山陸上競技場内会議室
11. 得点・表彰 得点は1位－6点、2位－5点、3位－4点、4位－3点、5位－2点、6位－1点。リ
レーは1位－6点、2位－3点とする。表彰は総合、男・女各優勝チームに次の賞を授与
する。なお、個人は第3位までとする。
〈団体〉総合優勝チーム 秩父宮賜杯、内閣総理大臣杯
男子優勝チーム 文部科学大臣杯
女子優勝チーム 厚生労働大臣杯
〈個人〉最優秀選手賞（男子）学生連合会長杯 （女子）実業団連合会長杯
敢闘賞 （男・女）小田原市長杯
最優秀新人賞（男・女）河野一郎杯

12. 宿泊・旅費 （1）宿泊は10月17日（金）または18日（土）1泊の希望者を本部負担とする。
- （2）旅費は100km未満は、普通運賃。
- 500km未満は、特別急行料金と普通運賃。
- 500km以上は、特別急行料金と普通運賃並びに航空運賃。
- （注）常磐線は水戸以北、中央線は甲府以西。
- 新幹線走行区間の100km以上は特急料金と運賃。
- 東海道・山陽新幹線は静岡以西。
- 上越・長野新幹線は、高崎以北。
- 東北・山形・秋田新幹線は宇都宮以北。
- 学生は、学割料金とする。
13. そ の 他 （1）出場選手には、チームユニフォームを支給する。
- （2）参加選手全員に記念品を支給する。
- （3）両連合承認の競技者については、オープン参加することができる。
- （4）1位～3位までの入賞者には入賞金品を、日本新記録、学生新記録、大会新記録を樹立した者には別に副賞を与える。
- （5）ドーピングコントロールテストはJAAFの規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
- （6）当日競技会に出場しなかった者は、旅費・宿泊等は自己負担とする（不慮の事故等の場合を除く）。
- （7）競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は負わない。
- （8）参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。

第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合、読売新聞社
2. 共 催 仙台市
3. 運営協力 東北学生陸上競技連盟、宮城陸上競技協会、仙台市スポーツ振興事業団
4. 後 援 宮城県、報知新聞社、日本テレビ放送網、宮城テレビ放送
5. 特別協賛
6. 協 賛
7. 協 力
8. 支 援 宮城県警察本部、仙台市交通指導隊、NPO法人仙台市スポーツ連盟、
仙台市体育指導員協議会、仙台市学区民体育振興会連合会
9. 期 日 平成20年10月26日（日） 12：10 スタート
10. コー ス 宮城陸上競技場スタート→仙台市役所前市民広場フィニッシュ
6区間 38.6km
1区（6.0km）第一中継所：宮城陸上競技場前
2区（6.6km）第二中継所：仙台市太白区役所前
3区（9.1km）第三中継所：西公園こけし塔前
4区（4.9km）第四中継所：ネッツトヨタ仙台黒松店前
5区（4.0km）第五中継所：宮城学院正門前
6区（8.0km）フィニッシュ：仙台市役所前市民広場
11. 出場資格 （1）平成20年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者。
（2）各地区学連から選抜されるチーム数は19大学とし、各地区学連の代表数は次の通りとする。
関東6大学、関西4大学、東北・北信越・九州各2大学、北海道・東海・中国四国各1大学
（3）昨年度大会上位6大学（立命大・佛教大・名城大・京産大・城西大・玉川大）で参加を希望する大学。
（4）総出場校は（2）の19大学と（3）の6大学、オープン参加の東北学連選抜チームを含める26チームとする。
12. チーム編成 1チーム10名（監督1、マネージャー1、選手8）をもって編成する。なお、チームエントリーの段階ではさらに選手2名を加えて登録することができる。
13. 申込方法 主催者から送付されるチームエントリー用紙に記入し、平成20年10月1日（水）正午までに読売新聞東京本社スポーツ事業部（〒104-8325東京都中央区京橋2-9-2、E-mail：

spopro@yomiuri.com) に申し込むこと。

メンバーエントリー（正選手 6 名、補員 2 名）2 部は健康に関する誓約書を添えて平成20年10月25日（土）11時00分～12時00分に大会事務局へ持参提出のこと。

14. 競技方法 （1）競技は、平成20年日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走規準および本大会申し合わせ事項により実施する。ただし、競技中に競技者が競技続行できなくなった場合、走者の交代は認めず、チームは失格となる。なお、希望があれば次の区間から走ることができるがこれ以降の区間記録は参考記録とする。

（2）大会結果は、レース終了後仙台市役所前市民広場・監督控室に掲示する。

15. 日 程 監督会議 10月25日（土）14時00分

（予定）開 会 式 10月25日（土）15時00分

競技開始 10月26日（日）12時10分

閉 会 式 10月26日（日）15時30分

16. 表 彰 優勝大学には、賞状と日本学生陸上競技連合会長杯、優勝旗（読売新聞社）等を贈与する。
2 位・3 位には、賞状と日本学生陸上競技連合楯を贈与する。
4 位から 8 位には、賞状と日本学生陸上競技連合楯を贈与する。
各区間最高記録者には、賞状と区間賞を贈与する。
優勝チームの監督には、優勝監督賞を贈与する。

17. そ の 他 （1）タスキは、各大学・地区学連選抜チームで 2 本用意すること。
尚、タスキは、長さ：1.6m～1.8m、幅：6 cm を標準とする。
（2）公道に直接目印となるマーキングすることを厳禁する。
（3）参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
（4）ドーピングコントロールテストはJAAFの規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示指された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
（5）参加者の宿泊先は選手村（未定）とする。選手村に宿泊する場合に限り、1 泊（東北、関東）又は 2 泊（北海道、北信越、東海、関西、中国四国、九州）分の宿泊費を負担する。
（6）本大会の結果により国際千葉駅伝のメンバーを選抜する。
（7）大会事務局

<大会 1 週間前：10月19日（日）まで>

東北学生陸上競技連盟 TEL&FAX：022-295-2992

〒983-0046 宮城県仙台市宮城野区西宮城野11-10 3 階

E-mail：tohokugakuren@k6.dion.ne.jp

HP：http://www.h7.dion.ne.jp/tgrr 3 f/tohokugakuren.html

<大会 1 週間前～大会当日まで>

未定

秩父宮賜杯 第40回全日本大学駅伝対校選手権記念大会 開催要項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合 朝日新聞社 テレビ朝日 メ〜テレ
2. 開催期日 2008年11月2日（日）午前8時10分スタート
3. コースと区間 熱田神宮西門前（名古屋市熱田区神宮）→伊勢神宮内宮宇治橋前（伊勢市宇治館町） 8
区間 106.8km
4. 出場資格と
シード制（1）2008年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者。
（2）各地区学連から選抜されるチーム数は19大学とし、各地区学連の代表数は次の通りとする。
関東6大学、関西・九州各3大学、北信越・東海各2大学、北海道・東北・中国四国各1大学
（3）昨年度上位6大学（駒大・日体大・中大・東海大・早大・山梨学大）で参加を希望する大学。
5. チーム編成 1チーム13人（監督1、マネジャー1、選手11）
なおチームエントリーの段階ではさらに選手2人を加えて登録することができる。
6. 申込方法と場所 日本学生陸上競技連合が配布する申込用紙に必要事項を記入し、2008年10月14日（火）正午までにチームエントリー（11人）を大会事務局へ必着するよう申し込む（チームエントリー後の変更は不可）。またメンバーエントリー（正選手8人、補欠3人）は健康に関する誓約書を添えて、2008年11月1日（土）正午から午後1時までに、大会事務局へ持参のこと。（なお、念のため申し込み用紙発送と同時に大会事務局へ電話連絡のこと）
7. 大会事務局 〒460-8488 名古屋市中区栄1丁目3番3号
電話 052-231-8131（代表） FAX 052-232-0955
朝日新聞社事業本部名古屋企画事業チーム内 全日本大学駅伝対校選手権大会事務局

第 6 回全日本大学女子選抜駅伝競走 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合、株式会社テレビ東京
2. 後 援 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、つくば市教育委員会、筑波大学、日本経済新聞社、スポーツニッポン新聞社、テレビ北海道、テレビ愛知、テレビ大阪、テレビせとうち、ティー・ヴィー・キュー九州放送、BSジャパン
3. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、茨城陸上競技協会
4. 特別協賛
5. 協 賛
6. 協 力 シチズンホールディングス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、大塚製薬株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社
7. 支 援 茨城県警察本部、つくば中央警察署、つくば北警察署
8. 賛 助
9. 企画協力 株式会社アサツーディ・ケイ、株式会社つくばスポーツインテリジェンス
10. 期 日 平成20年12月23日（火・祝） 12時00分スタート（予定）
11. コース・区間 スタート地点：つくば中央公園～フィニッシュ地点：筑波大学陸上競技場（6 区間30.67km）
第 1 区（5.0km） 第 1 中継地点：茗溪学園
第 2 区（3.0km） 第 2 中継地点：筑波宇宙センター
第 3 区（5.5km） 第 3 中継地点：筑波大学本部棟
第 4 区（3.5km） 第 4 中継地点：大穂交差点
第 5 区（6.0km） 第 5 中継地点：筑波大学病院
第 6 区（7.67km） フィニッシュ地点：筑波大学陸上競技場
12. チーム数 20チーム
(1) 大学単独チーム（12大学）
第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会上位12大学で出場を希望する大学
(2) 地区学連選抜チーム（8 チーム）
北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国四国、九州 各 1 チーム
13. チーム編成 1 チーム10名（監督 1、マネージャー 1、選手 8）をもって編成する。
なお、チームエントリーの段階ではさらに選手 2 名を加えて登録することができる。
14. 申し込み 指定の申込用紙に必要事項を記入し、平成20年 月 日（ ） までに下記に申し込む。
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-11 中沢ビル 2 階
(社) 日本学生陸上競技連合 宛
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

メンバーエントリー（正選手6名、補員2名）は健康に関する誓約書を添えて、平成20年12月 日（ ）（時間未定）までに大会本部（場所未定）に持参し、提出する。

15. 競技方法 （1）競技は、平成20年度日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走規準および、本競走申し合わせ事項により実施する。ただし、競技中に競技者が競技続行できなくなった場合、走者の交代は認めず、チームは失格となる。なお、希望があれば次の区間から走ることとはできるがこれ以降の区間記録は参考記録とする。

（2）大会結果は、レース終了後大会事務局が指定する場所に掲示する。

16. 表 彰 優勝 日本学生陸上競技連合会長杯、テレビ東京杯、茨城県知事杯・賞、つくば市長賞、賞状、メダル
- 2位、3位 日本学生陸上競技連合・テレビ東京杯、賞状、メダル
- 4位～8位 日本学生陸上競技連合・テレビ東京杯、賞状
- 区間賞 日本学生陸上競技連合・テレビ東京杯、賞状
- 優勝監督賞 日本学生陸上競技連合・テレビ東京杯、賞状

17. そ の 他 （1）タスキは各大学・地区学連選抜チームで2本用意すること。
尚、タスキは、長さ：1.6m～1.8m、幅：6cmを標準とする。
- （2）公道に目印として直接マーキングすることは厳禁とする。
- （3）参加チーム（監督1名、マネージャー1名、選手8名）の宿泊（前泊）、交通費は主催者が負担する。ただし、指定宿舎に宿泊しない場合は自己負担とする。
- （4）参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
- （5）本競走は「大学女子選抜駅伝」を正式略称とする。

第12回日本学生ハーフマラソン選手権大会 兼 第25回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考競技会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合、立川市陸上競技協会、昭島市陸上競技協会、立川市、昭島市、西武新聞社
2. 主管・運営協力 立川市陸上競技協会 他
3. 後 援 立川市教育委員会、東京女子体育大学、マイ・テレビ 他
4. 協 賛
5. 日 時 平成21年 3 月 8 日（日） 時 分スタート
6. 場 所 立川市緑町国営昭和記念公園と周回コース
7. 出場資格 平成20年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。
8. 競技規則 平成20年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
9. 参 加 料 1 人 3,000円
10. 申込方法 (1) 各大学は、申込書を各地区学連の申込期日までに別紙様式に必要事項を記入し、申し込むこと。なお、FAX・電話等による申込は一切受け付けない。
(2) 参加料は申込と同時に納入することとし、受領書は各地区学連が発行するものとする。
(3) 各地区学連は、書類をとりまとめ、平成21年 月 日（ ）までに本連合事務局宛に申し込むこと。
(4) 送付先
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-11 中沢ビル 2F
(社) 日本学生陸上競技連合
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569
11. 表 彰 (1) 3 位までの入賞者には賞状とメダルを贈与する。
(2) 8 位までの入賞者に賞状を贈与する。
12. そ の 他 (1) レースは「立川昭島マラソン」と併催される。
(2) 参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
(3) 本大会の結果により第25回ユニバーシアード競技大会への代表選手の選考を行う。

第12回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 兼 第25回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考競技会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合、まつえレディースハーフマラソン実行委員会
2. 運営協力 中国四国学生陸上競技連盟、島根陸上競技協会、松江市陸上競技協会
3. 後 援 松江市、松江市教育委員会、島根県、島根県教育委員会、山陰中央テレビジョン株式会社、財団法人松江体育協会、他
4. 協 賛 株式会社 伊藤園
5. 支 援 島根県警察本部、島根県警察本部交通部交通機動隊、松江警察署
6. 日 時 平成21年3月15日（日） 時 分スタート
7. 場 所 まつえレディースハーフマラソンコース

8. 出場資格 平成20年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。

なお、以下の（１）及び（２）の条件を満たした競技者については、旅費及び宿泊費（前日１泊）を大会実行委員会で負担する。ただし、指定宿舎に宿泊しない場合は自己負担とする。

（１）基準記録A突破者

（２）地区学連推薦競技者（各地区学連２名以内）

①基準記録B突破競技者（各地区学連２名以内）

②上記の①の該当者が０名の場合は記録にかかわらず１名推薦できる

③上記の①の該当者が１名の場合は記録にかかわらずさらに１名推薦できる

種目	基準記録A	基準記録B	記録有効期間
ハーフマラソン	1 時間16分00秒	1 時間19分00秒	公認記録であれば時期は問わない
10000m	34分20秒 0	35分30秒 0	平成20年 1 月 1 日から申込期日の前日まで
5000m	16分20秒 0	16分50秒 0	平成20年 1 月 1 日から申込期日の前日まで

9. 競技規則 平成20年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会実施申し合わせ事項による。
10. 参 加 料 1 人 2,000円
11. 申込方法
 - （１）各大学は、申込書を各地区学連の申込期日までに別紙様式の必要事項を記入し、また健康に関する契約書を添付し申し込むこと。なお、FAX・電話等による申込みは一切受け付けない。
 - （２）参加料は申込みと同時に納入すること、受領書は各地区学連のものとする。
 - （３）各地区学連は、出場競技者の書類を取りまとめの上、平成21年 2 月 日（ ）までに本連合事務局宛に申し込むこと。

（４）送り先 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-11 中沢ビル 2 階

（社）日本学生陸上競技連合

第12回日本学生女子ハーフマラソン係宛

TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

12. 表 彰 （１）３位までの入賞者に賞状とメダルを授与する。

（２）４位～８位までの入賞者に賞状を授与する。

13. そ の 他 （１）レースに関する注意事項は大会実行委員会から通知される。

（２）レースは「まつえレディースハーフマラソン」と併催される。

（３）参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。

（４）一般参加者については、宿泊斡旋希望の有無を参加申込書に記入すること。

指定及び斡旋宿舎 松江ニューアーバンホテル

（５）本大会の結果により第25回ユニバーシアード競技大会への代表選手の選考を行う。

第 3 回日本学生20km競歩選手権大会 兼 第25回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考競技会 要 項

1. 主 催 財団法人日本陸上競技連盟、社団法人日本学生陸上競技連合、能美市、
能美市教育委員会
2. 共 催 北國新聞社
3. 後 援 石川県、石川県教育委員会、石川県体育協会、アジア陸上競技連盟、
石川県中学校体育連盟、NHK金沢放送局、テレビ金沢、エフエム石川、
ラジオこまつ、こまつテレビ
4. 主 管 石川陸上競技協会、全日本競歩根上大会実行委員会
5. 協 賛 能美市商工会、能美市観光物産協会、根上農業協同組合
6. 運営協力 石川県寺井警察署
7. 期 日 平成21年 3 月15日（日）
8. 日 程 開会式 3 月14日（土）
能美市根上文化会館 能美市大成町ヌ118 TEL：0761－55－8550
*競技者は全員参加のこと。
閉会式 3 月15日（日）競技終了後
能美市立浜小学校体育館 能美市中町カ14 TEL：0761－55－0116
9. 種目・競技時間 [男子] 20km競歩 時 分
[女子] 20km競歩 時 分
10. コー ス 日本陸上競技連盟公認コース（2.0km周回コース）
11. 参加資格 平成20年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者であり、下記の条件を満たした競技者。
 1. 平成19年 1 月 1 日から本競技会出場申込み締切日前日までに下記の参加標準記録突破した者。
[男子] 20km競歩 1 時間50分00秒以内
(10km競歩又は10000m競歩：49分00秒以内)
[女子] 20km競歩 2 時間00分00秒以内
(10km競歩又は10000m競歩：58分00秒以内)
12. 表 彰 優勝者には優勝杯、メダルと賞状、2 位～ 3 位にはメダルと賞状、4－8 位には賞状を贈与する。
13. 参 加 料 男女20km 3,000円
参加料は理由の如何にかかわらず、返金を行わない。
14. 申込締切日 平成21年 月 日（ ）必着

15. 申込方法 ①平成21年 月 日（ ）必着で下記の申込先に、別紙申込書に必要事項を記入し、指定振込先に参加料を振り込みその振込書（控）を参加申込書と一緒に添付のこと。なお、学校単位でまとめて振り込む場合も参加申込書に添付のこと。
- ②申込先（大会事務局）
- 〒929－0192 石川県能美市中町子88番地
能美市根上庁舎スポーツ課内
第33回全日本競歩根上大会事務局
TEL（0761）55－8514 FAX（0761）55－8530
16. 指定振込先 北國銀行根上支店 普通預金 口座番号 No.084573
JA根上 普通預金 口座番号 No.0719701
鶴来信用金庫 普通預金 口座番号 No.1069155
17. 競歩クリニック・競技者打合せ会 参加希望者は下記の場所に各自で集合すること。
- 競歩クリニック 15時45分～ 根上文化会館
競技者打ち合わせ会 16時45分～ 根上文化会館
18. 制限時間 下記の制限時間を経過した競技者は、交通整備、大会運営上競技を打ち切る。
- 男子20km競歩・・・・・・ 時間 分
女子20km競歩・・・・・・ 時間 分
19. そ の 他 レースは「全日本競歩根上大会」と併催される。
本大会の結果により第25回ユニバーシアード競技大会への代表選手の選考を行う。

2007年（平成19年）に誕生した日本学生記録

【男子】

種目	記録	氏名	大学名	月日	競技会名	会場
5000m	13' 19" 00	竹澤 健介	早稲田大学	7/28	ナイトオブアスレティック	ニュースデンボン
20km	56' 42"	M. モグス	山梨学院大学	2/4	丸亀ハーフマラソン	丸亀
ハーフマラソン	59' 48"	M. モグス	山梨学院大学	2/4	丸亀ハーフマラソン	丸亀
10kmW	40' 04"	森岡紘一朗	順天堂大学	3/25	日本学生20km競歩選手権大会	能美

【女子】

種目	記録	氏名	大学名	月日	競技会名	会場
200m	23" 64	丹野 麻美	福島大学	6/10	日本インカレ	国立
4×400m	3' 34" 70	渡辺なつみ	福島大学	10/28	日本選手権リレー	日産
		丹野 麻美				
		青木沙弥佳				
		金田一菜可				
10000mW	44' 52" 90	瀧瀬真寿美	龍谷大学	6/10	日本インカレ	国立
10kmW	44' 23"	瀧瀬真寿美	龍谷大学	1/28	日本選手権競歩	神戸
20kmW	1' 29' 36"	瀧瀬真寿美	龍谷大学	1/28	日本選手権競歩	神戸

社団法人日本学生陸上競技連合 役員

(平成20・21年度)

名誉会長	河野 洋平					
顧問	上木 道夫					
参与	石井 隆士	石部 安浩	井上 有美	大西 暁志	梶原 洋子	
	蔭山 靖夫	木村 登	佐藤 良男	佐沼 洋	澤村 博	
	綱分 憲明	永井 純	藤田 幸雄	山崎 健		
地区学連会長	藤井 英嘉	黒澤直次郎	青葉 昌幸	小口 正行	松本 正之	
	園田裕四郎	東川 安雄	近藤 勲			
会長	保利 耕輔					
副会長・専務理事	関岡 康雄					
副会長	園田裕四郎	青葉 昌幸				
理事	大西 清司	尾縣 貢	神尾 正俊	近藤 龍彦	澤木 啓祐	
	・米谷 元捷	・藤井 邦夫	・金子今朝秋	・岩壁 達男	・森本 葵	
	・三條 俊彦	・安藤 好郎	・栗山 佳也	・伊東 輝雄	・和田 正信	
	・片峯 隆					
						(・印は各地区理事)
監事	石澤 隆夫	田中 淳浩				
総務委員会	近藤 龍彦	(委員長)				
	大西 清司	(副委員長)				
	新井 英俊	植田 平	岡田 晃	佐藤 朋代	佐沼 洋	
	庄田 修司	鈴木 優介	高平 敦	谷口 崇央	長井 健	
	西田由香子	松井祐香里	吉村 篤司			
(協力委員)	遠藤 創	河島 正弘	清水 勝彦	須田 公男	竹下 宗樹	
	徳留 正					
強化委員会	尾縣 貢	(委員長)				
	伊東 輝雄	金子今朝秋	(副委員長)			
	青山 清英	今村 文男	磯 繁雄	植田 恭史	荻部 俊二	
	鯉川なつえ	小山 裕三	仲村 明	安井 年文	山下 誠	
	渡部 誠	杉山 喜一	藤井 邦夫	三條 俊彦	杉田 正明	
	栗山 佳也	和田 正信	片峯 隆			
(メディカル・コミッション)	大山卞圭悟	小川 健	金子 晴香	鎌田 浩史	蒲原 一之	
	清水 如代	船山 徹	眞鍋 芳明	村上 博之	山本 利春	
(ドーピング実施委員会)	大木 亮子	鎌田 浩史	蒲原 一之	諸岡 佳代	山澤 文裕	
	尾縣 貢					

(ロード競技対策小委員会)	伊東 輝雄	今村 文男	尾縣 貢	鯉川なつえ	十倉みゆき
	仲村 明	藤井 邦夫	山下 誠	米田 勝朗	和田 正信
	神尾 正俊	(委員長)			
	阿保 雅行	(副委員長)			
審判指導委員会	鎌倉 光男	小松 邦江	庄田 修司	関根 春幸	田中 右一
	長野 史尚	野崎 忠信	吉儀 宏		
	浅見美弥子	(委員長)			
	障子 恵	(副委員長)			
女子委員会	沖田 友里	小松 邦江	中野 稚子	高橋 早苗	松井祐香里
	近藤 龍彦	澤木 啓祐	大西 清司		
財務委員会	阿保 雅行	石部 安浩	尾縣 貢	澤村 博	永井 純
国際委員会	吉村 篤司				
J U S B 派遣委員	永井 純				
日本陸連連絡理事	神尾 正俊				

(平成20年度)

幹事長	伊室 智明	(日体大)		
秘書	福原 雅史	(神奈川大)		
会計	北野 史子	(日女体大)		
幹事	天間 拓也	(北大)	上原 寿夫	(仙台大)
	今泉 雄太	(日大)	益田 雄次	(駒大)
	小島 緑	(日女体大)	苔米地 克	(大東大)
	横山芽久未	(日女体大)	原田 俊介	(信州大)
	加藤 欣也	(名大)	山口 昌寛	(中京大)
	服部 陽平	(阪大)	間壁 恵	(大国大)
	今中 康生	(関大)	宮城 俊吾	(広島大)
	小川 洋平	(福教大)		
	本多 道子	石井 智也		
事務局員				

平成19年度社団法人日本学生陸上競技連合 栄章受章者

1. 功労章

地 区	氏 名	役 職	年 齢	出 身 校
北 海 道	該 当 者 な し			
東 北	かわ もと かず ひさ 川 本 和 久	東北・評議員、強化副委員長 連 合 ・ 強 化 委 員	50	筑 波 大 学
関 東	とく まる より こ 徳 丸 順 子	連 合 ・ 理 事 員 関 東 ・ 強 化 委 員	72	中 央 大 学
	つか こし のり ひこ 塚 越 憲 彦	関 東 ・ 評 議 員	67	法 政 大 学
北 信 越	まつ ざわ じん ざぶ ろう 松 澤 甚 三 郎	北 信 越 ・ 評 議 員	69	福 井 大 学
東 海	あお き みゆ 青 木 実	東 海 ・ 評 議 員	57	愛 知 教 育 大 学
関 西	い と う みち ろう 伊 藤 道 郎	関 西 ・ コ ー チ	56	東 京 教 育 大 学
中国四国	こ ま い せつ お 駒 井 説 夫	中 国 四 国 ・ 評 議 員	54	大 阪 教 育 大 学
九 州	いわ もと しん いち 岩 元 慎 一	九 州 ・ 評 議 員、コ ー チ	54	福 岡 大 学
連 合	か ま く ら て る お 鎌 倉 光 男	連 合 ・ 審 判 指 導 委 員 員 関 東 ・ 競 技 審 判 委 員	56	法 政 大 学

2. 勲功章

氏 名	役 職	年 齢	出 身 校
該 当 者 な し			

第24回ユニバーシアード競技大会、世界選手権大阪大会で資格を得た競技者には
2007全日本学生陸上競技チャンピオンシップ（神奈川県平塚市）で贈与済み

平成19年度日本学生登録競技者数

地区学連	北海道学連	東北学連	関東学連	北信越学連	東海学連	関西学連	中国四国学連	九州学連	合 計
男 子	491	721	5,034	647	1,037	2,038	1,158	1,225	12,351
女 子	160	256	1,463	152	389	832	362	368	3,982
合 計	651	977	6,497	799	1,426	2,870	1,520	1,593	16,333

(単位：名)

平成19年度新規B級公認審判員資格取得者数

地区	北海道	東 北	関 東	北信越	東 海	関 西	中国四国	九 州	合 計
男 子	38	55	341	46	197	392	130	46	1,245
女 子	13	16	145	20	70	160	27	19	470
合 計	51	71	486	66	267	552	157	65	1,715

(単位：名)

